

令和元年度第1回千葉県図書館協議会次第

日 時 令和元年8月21日（水）
午前10時から
場 所 千葉県文化会館第3会議室

1 開 会

2 出席者（委員及び職員）紹介

3 議長、副議長選出

4 議長あいさつ

5 議 事

（1）平成30年度事業報告及び令和元年度事業計画について（報告）

（2）千葉県立図書館行動計画（平成30～令和2年度）の中間報告について（協議）

（3）その他

6 その他

7 閉 会

千葉県図書館協議会委員名簿(第35期)

任期 令和元年7月22日～令和3年7月21日

番号	委員の区分	氏名	役職等	新任再任の別	備考
1	学校教育関係者	おおくぼ はじめ 大久保 一	八街市立八街北中学校教頭 (千葉県教育研究会 学校図書館教育部会副会長)	再任	
2	学校教育関係者	つかだ こういちろう 塚田 高一郎	千葉県立八千代東高等学校校長 (千葉県高等学校教育研究会 学校図書館部会会長)	新任	
3	学校教育関係者	こいずみ たかし 小泉 卓史	学校法人市川学園 市川中学校・市川高等学校 前第三教育部長・第三教育センター長	再任	
4	社会教育関係者	さかぐち そのこ 坂口 園子	柏市中央公民館長 (千葉県公民館連絡協議会副会長)	新任	
5	社会教育関係者	おの ひみこ 小野 日実子	四街道市立図書館長 (千葉県公共図書館協会監査役)	新任	
6	家庭教育関係者	やぐち もりあき 矢口 盛明	千葉県PTA連絡協議会本部役員	新任	
7	家庭教育関係者	な か けいこ 名嘉 圭子	千葉県特別支援学校PTA連合会会長	新任	
8	学識経験者	さとう もとこ 佐藤 宗子	千葉大学教育学部教授	再任	
9	学識経験者	たけうち ひるや 竹内比呂也	千葉大学副学長・附属図書館長 (千葉大学人文科学研究院教授)	再任	
10	学識経験者	たかいし たかし 高石 卓	千葉信用金庫理事 (元千葉県立中央図書館館長)	再任	

令和元年度 県立図書館幹部職員一覧

中 央	西 部	東 部
館 長 エノモト リュウジ 榎 本 隆 二	館 長 タカハシ マサナ 高 橋 正 名	館 長 カマガタ サチオ 鎌 形 佐 知 夫
副館長 アタカ ヒトシ 安 宅 仁 志	副館長 フジカワ ヨウコ 藤 川 洋 子	副館長 オオイシ ユカ 大 石 豊
庶務課長 ヤマモト エミコ 山 本 恵 美 子	庶務課長 オカヤマ タカコ 岡 山 貴 子	庶務課長 オノデラ マコト 小 野 寺 誠
読書推進課長 タナカ マサミ 田 中 雅 美	読書推進課長 オンダリ テツヤ 忍 足 哲 也	読書推進課長 オシザワ ヒロコ 押 澤 裕 子
資料管理課長 スギヤマ ユウコ 杉 山 裕 子	資料管理課長 ワカモト トモコ 若 本 朋 子	資料管理課長 ナカノ アキコ 中 野 晶 子
ちば情報課長 ヤマダ ヒロコ 山 田 浩 子		
図書館連携課長 タマイ ヤヨイ 玉 井 弥 生	図書館連携課長 テラウチ カツヤ 寺 内 勝 也	図書館連携課長 ワタスキ タケン 渡 貫 健

○千葉県図書館協議会関係条例・規則

教育機関設置条例（抜粋）（昭和三十二年四月一日条例第四号）

（図書館協議会）

第五条 図書館に図書館協議会を置く。

2 図書館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

3 前項の委員の定数は、十人以内とする。

4 第二項の委員の任期は二年とし、欠員の生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前三項に定めるもののほか、図書館協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、千葉県教育委員会が定める。

図書館協議会会議運営規則（昭和三十六年八月三十一日教育委員会規則第十号）

第一条 図書館協議会会議（以下「会議」という。）には、委員の互選による議長及び副議長一人を置くものとする。

第二条 議長及び副議長の任期は二年とする。

第三条 議長は会議を主宰する。

第四条 副議長は、議長を助け、議長に事故あるときは、その職務を行う。

第五条 会議は、議長が招集する。

第六条 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

2 会議の議決は、出席者の過半数で決める。

第七条 会議開催の場所及び日時は、会議に付議すべき事件とともに、議長が、あらかじめこれを通知しなければならない。

第八条 招集は、開会の日前、七日までに、これを通知しなければならない。ただし、急を要する場合はこの限りでない。

第九条 会議は、定例会及び臨時会とする。

第十条 定例会は、年三回以上これを招集しなければならない。

第十一条 臨時会は、必要がある場合においてその事件に限りこれを招集する。

第十二条 会議招集の通知後に急を要する事件があるときは、第七条の規定にかかわらず、直ちに、これを会議に付議することができる。

第十三条 関係職員は、会議に出席して意見をのべることができる。

第十四条 この規定に定めるもののほか、会議に必要な事項は別にこれを定める。

第十五条 会議に関する庶務は千葉県立中央図書館で行う。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和六十二年四月一日教育委員会規則第二号）

この規則は、公布の日から施行する。

I 千葉県立図書館運営方針

【令和元年度要覧 抜粋】

1 基本理念

県立図書館は、知識と情報が飛躍的に重要性を増す知識基盤社会において、くらし満足度日本一を実現するため、光り輝く千葉県を目指す知の拠点として、中核的公立図書館の重要な役割を担っています。

知識や情報の収集・発信の拠点として、豊富かつ幅広い図書館資料を整備して知の集積を図り、すべての県民が、生涯にわたり豊かな文字・活字文化の恵沢を享受できるようにしなければなりません。そして、自ら考え判断するための知識や情報を利用できるように、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、人づくりや知の基盤づくりに貢献し、本県の経済・産業・文化・教育などの発展に寄与します。

* 「千葉県立図書館基本構想」平成30年1月 千葉県教育委員会より抜粋

2 基本方針

- 1 県立図書館は、県民の多様化する図書館サービスの要求に応えるため、県内公立図書館、高等学校図書館及び大学図書館等と連携し、図書館ネットワークを発展させることにより、県内図書館サービス全体の向上を図る。
- 2 県立図書館は、県内公立図書館の図書館サービスの向上を図るため、図書館の求めに応じた支援や図書館職員の資質向上のための研修事業を充実する。特に、図書館未設置市町村の読書施設に対しては、住民の読書環境の向上が図られるよう必要な支援を行う。
- 3 県立図書館は、「千葉県子どもの読書活動推進計画（第三次）」に基づき、公立図書館や学校図書館と連携しながら子どもの読書活動を推進する。
- 4 県立図書館は、県民の調査研究活動や様々な課題の解決を支援するため、各分野にわたる専門的資料や情報を収集する。また、レファレンス機能を発揮することにより、県民や県内公立図書館等からの高度な質問にも迅速かつ的確に回答する。さらに、関係機関と連携し、県内企業や行政機関の調査研究や政策形成のために必要な情報を提供する。
- 5 県立図書館は、千葉県の文化・歴史を次世代に継承していくため、本県関係資料を計画的に収集するとともに、貴重資料をはじめ、将来にわたって残すべき資料の保存体制の整備と資料のデジタル化を推進する。
- 6 県立図書館は、県民の多様な生涯学習の要求に応えるとともに、県民の知の創造と循環に資するため、県内外の博物館、文書館、大学など関係機関・団体と連携を図りながら、幅広い資料や情報を収集提供し、モデル的な事業を展開する。
- 7 県立図書館は、「千葉県立図書館行動計画」を策定し、目標達成に取り組みとともに、達成状況の自己点検及び第三者評価を行い、図書館サービスの向上に努める。

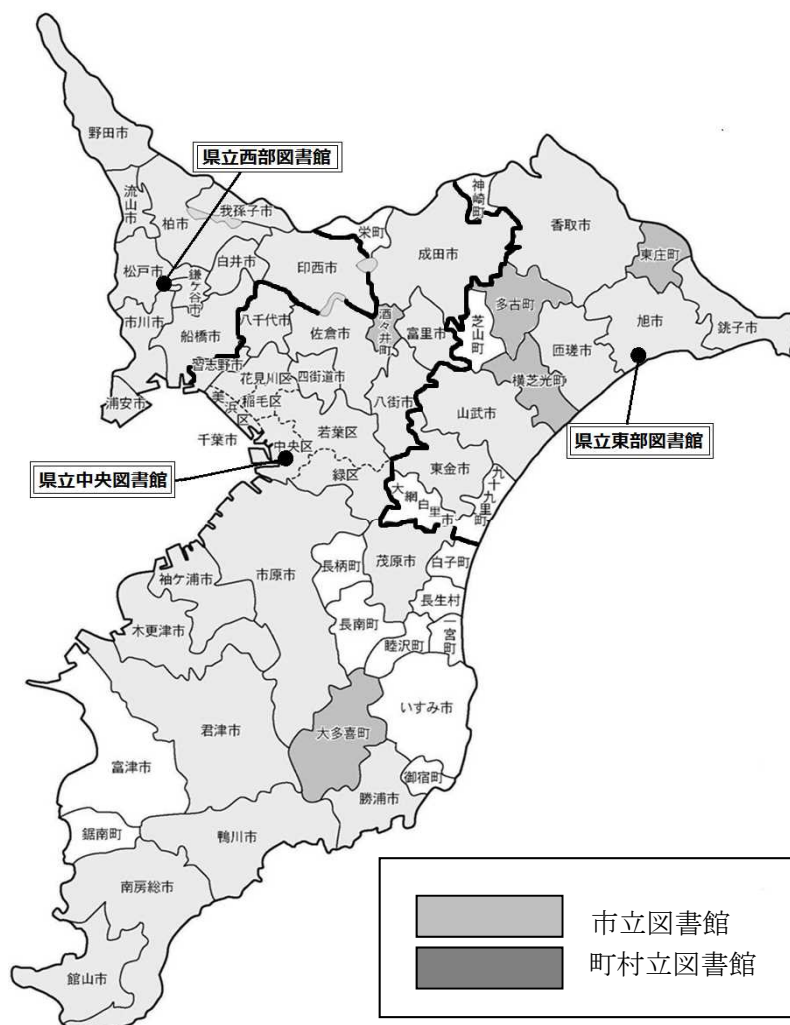
5 平成30年度統計資料

(1) 3館の概要(平成31年3月31日現在)

項目	館名	中央図書館	西部図書館	東部図書館	3館合計
創立年月日		大正13年3月8日 (昭和43年9月新築移転)	昭和62年4月1日	平成10年11月1日	
所在地		千葉市中央区市場町	松戸市千駄堀	旭市ハ	
図書館公用車		0台	0台	1台	
敷地面積		5,600.00 m ²	5,236.00 m ²	4,093.74 m ²	14,929.74 m ²
延床面積		6,171.03 m ²	4,094.90 m ²	4,165.23 m ²	14,431.16 m ²
建物		プレキャストコンクリート	鉄筋コンクリート	鉄骨鉄筋コンクリート	
		地下2階地上5階建	地下1階地上3階建	地上3階建	
駐車場台数		専用31台	専用35台	専用72台	
収容可能開架		70,000冊	60,000冊	100,000冊	230,000冊
書庫		482,000冊	440,000冊	400,000冊	1,322,000冊
冊数計		552,000冊	500,000冊	500,000冊	1,552,000冊
座席数		82席	230席	213席	525席
児童		49席	0席	0席	49席
その他		7席	18席	46席	71席
計		138席	248席	259席	645席
蔵書冊数		868,206冊	278,688冊	286,355冊	1,433,249冊
外国語図書※1		11,297冊	17,234冊	6,829冊	35,360冊
児童図書		114,159冊	0冊	0冊	114,159冊
千葉県資料		87,929冊	17,328冊	10,777冊	116,034冊
視聴覚資料		1,741点	18,321点	8,601点	28,663点
平成30年度受入冊数		7,683冊	2,767冊	4,754冊	15,204冊
購入図書冊数		4,657冊	2,377冊	4,111冊	11,145冊
寄贈受入冊数		3,026冊	390冊	643冊	4,059冊
購入雑誌タイトル数		21紙	21紙	16紙	58紙
雑誌		129誌	258誌	177誌	564誌
法規集等		2種	0種	0種	2種
資料購入費		24,915千円	18,695千円	20,350千円	63,960千円
図書購入費		21,185千円	13,200千円	17,615千円	52,000千円
入館者数		65,444人	159,516人	141,884人	366,844人
登録者数		14,620人	16,197人	8,979人	39,796人
貸出冊数		52,093冊	49,900冊	34,632冊	136,625冊
参考調査件数		10,103件	5,489件	7,407件	22,999件
複製サービス枚数		98,908枚	36,327枚	7,268枚	142,503枚
県立図書館蔵書貸出冊数		49,446冊	19,072冊	36,949冊	105,467冊
市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数※2		49,055冊	37,904冊	14,181冊	101,140冊
職員数(H31.4.1現在)		32人	23人	16人	71人
(司書有資格者数)		17人	14人	9人	40人
非常勤職員		8人	7人	9人	24人
計 ※3~※4		40人	30人	25人	95人
特色		県立3館の調整機能を持つセンター館。県関係資料・児童サービス充実。千葉県公共図書館協会とも連携した支援・職員研修等を実施。	自然科学・技術系資料が充実。障害者サービスを推進、普及。	文学・歴史分野の資料が充実。小規模図書館や図書館未設置市町村読書施設への支援。	

- (注) ※1 中央図書館の外国語図書には児童図書と県関係資料の外国語図書を含み、児童図書と重複して記載
 ※2 各エリア内での貸出冊数
 ※3 職員数は平成31年4月1日現在
 ※4 中央図書館には教育振興部生涯学習課との兼務職員1名、西部図書館には育短任期付職員1名(いずれも司書有資格者)を含む

7 県内公立図書館設置状況



設置者別図書館数

(平成31年4月1日現在)

【総合】

区分	市町村数	設置市町村数	図書館設置率	全国平均設置率 30.4現在	図書館数	
					本館	分館
市立	37	34	91.9%	98.9%	67	90
町立	16	5	31.3%	64.4%	5	1
村立	1	0	0.0%	26.8%	0	
私立					2	
県立					3	

【中央エリア】

区分	市町村数	設置市町村数	図書館設置率	全国平均設置率 30.4現在	図書館数	
					本館	分館
市立	19	17	89.5%	98.9%	35	34
町立	10	2	20.0%	64.4%	2	
村立	1	0	0.0%	26.8%	0	
私立					1	
県立					1	

【西部エリア】

区分	市町村数	設置市町村数	図書館設置率	全国平均設置率 30.4現在	図書館数	
					本館	分館
市立	11	11	100%	98.9%	23	55
町立						
村立						
私立						
県立					1	

【東部エリア】

区分	市町村数	設置市町村数	図書館設置率	全国平均設置率 30.4現在	図書館数	
					本館	分館
市立	7	6	85.7%	98.9%	9	1
町立	6	3	50.0%	64.4%	3	1
村立						
私立					1	
県立					1	

注 全国平均設置率の数値は、「日本の図書館2018」による

Ⅱ 平成30年度事業報告

【概況】

県立図書館は運営方針に基づき、3館の密接な連携により、市町村立図書館等への援助、県内の中核的調査研究図書館としての情報・資料の提供、図書館未設置市町村の読書施設に対する資料援助や運営相談及び職員研修、高等学校・大学及び類縁機関等との連携など幅広い図書館活動を行った。

図書館事業概要

項目		館名	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計
資料整備	資料総数	受入冊数	7,683 冊	2,767 冊	4,754 冊	15,204 冊
		(内購入冊数)	(4,657 冊)	(2,377 冊)	(4,111 冊)	(11,145 冊)
		購入費	21,185 千円	13,200 千円	17,615 千円	52,000 千円
	蔵書数	868,206 冊	278,688 冊	286,355 冊	1,433,249 冊	
	新聞・雑誌・法規集	78紙・3,740誌・3種	37紙・502誌・0種	23紙・262誌・0種	138紙・4,504誌・3種	
サービス業務	利用状況	入館者数	65,444 人	159,516 人	141,884 人	366,844 人
		登録者数	14,620 人	16,197 人	8,979 人	39,796 人
		個人貸出	52,093 冊	49,900 冊	34,632 冊	136,625 冊
	資料複製サービス	98,908 枚	36,327 枚	7,268 枚	142,503 枚	
	参考調査 照会・質問	10,103 件	5,489 件	7,407 件	22,999 件	
傍務	県立図書館蔵書貸出冊数	49,446 冊	19,072 冊	36,949 冊	105,467 冊	
	市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数	49,055 冊	37,904 冊	14,181 冊	101,140 冊	
管内人口(平成31年4月1日)						6,267,517 人

《備考》 蔵書数にはマイクロ資料、視聴覚資料を含む。

市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数は半期ごとに集計。

【業務内容】

第1 県内図書館の中核としての役割

1 市町村の読書環境充実のための支援

(1) 資料搬送ネットワークの維持・改善(図書館協力業務)

「読書県ちば」を目指し、市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等に対して、相互貸借資料の搬送や運営相談、協力レファレンス等の援助を行った。また、高等学校・大学及び類縁機関等と連携し、読書活動の充実に努めた。

ア 資料の図書館間貸出し

市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行った。

イ 図書館連絡車・協力車巡回

業者委託により県立図書館3館の間で連絡車を巡回させ、県内の全ての市町村立図書館等に対して週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館等の相互貸借資料を搬送した。

ウ 協力レファレンス

市町村立図書館等からの所蔵調査・資料調査・事項調査等の調査・相談等に対し、外部データベースや図書館資料を使って支援を行った。

エ 図書館未設置市町村支援

図書館未設置市町村の公民館図書室など読書施設に対し、資料の貸出しや協力レファレンス、教科書単元別資料リスト活用の紹介〈中央〉、運営相談等の支援を行った。図書館未設置市町村への訪問時に小学校教科指導で使える資料リストとその図書見本を持参し、管内小学校等への周知を依頼した結果、654冊の依頼があった。

オ 担当者会議の開催

市町村立図書館等の相互協力担当職員を対象に、相互協力業務の確認や情報交換を行い、相互協力の円滑な推進を図るための会議を開催した。

- ・中央図書館（市町村立図書館相互協力担当者会議 4月25日（水）43人出席）
- ・西部図書館（管内市立図書館相互協力担当者会議 6月5日（火）29人出席）
- ・東部図書館（市町立図書館等相互協力担当者会議 5月25日（金）20人出席）

カ その他

相互協力ニュース（県立図書館ホームページ→図書館員のページ）を発行した。（年6回）

（2）図書館運営相談

全市町村を訪問し、各図書館の課題等について運営相談を行った。図書館の管理・運営やサービスに関する質問を市町村立図書館等から受け付けるとともに、定期的に施設訪問し、図書館運営相談等に応じた。

- ・中央図書館（電話やメールでの相談：12回、奉仕対象市町村への訪問相談：年2回、希望のあった館について2回目の運営相談を実施した。）
- ・西部図書館（図書館運営相談訪問：各館1回）
- ・東部図書館（13市町の図書館及び公民館図書室等16施設に対し、延べ48回の運営相談を実施した。）

（3）その他

ア 新聞・雑誌総合目録の整備

千葉県公共図書館協会加盟の市町村立図書館等や、文書館行政資料室、県立保健医療大学図書館、さわやかちば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を更新してホームページ上で公開した。

イ 読書活動支援

県内の読書活動を推進するため、市町村立図書館等と連携し、読書グループ関係団体への支援協力を行った。また、千葉県読書グループ連絡会に協力して、千葉県読書グループ研修会の開催を支援した。さらに、読書会用テキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫を整備した（総タイトル数678）。

ウ 資料の巡回展示〈東部〉

東部図書館で実施した資料展示や資料紹介の資料を、希望する市町村立図書館、公民館図書室、学校図書館等に一括して貸出し、同じテーマで資料展示をしてもらい巡回展示を6施設と2校に25回実施した。

2 図書館職員の研修センター

(1) 職員の資質向上

県立図書館職員の資質向上を目的に館内研修を計画的に実施するとともに、国立教育政策研究所主催の図書館司書専門講座を始めとした外部研修会等への職員派遣を積極的に行った。

(2) 研修業務

市町村立図書館職員等の資質向上を図るため各種の研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努めた(延べ 22回開催、710人参加)。各研修時のアンケート結果を分析し、課題を集約した。また、運営支援の一環として、全ての県内図書館等読書施設の職員が、図書館サービス向上のための研修を受けられるよう、千葉県公共図書館協会と連携した研修プログラムの開発に積極的に取り組んでいる。

【中央図書館】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
公共図書館新任職員研修会	5月16日(水)	「公共図書館の役割、利用サービス、障害者サービス、レファレンスサービス、児童サービス及び相互協力業務等」講師 当館職員	38人
公共図書館中堅職員研修会	10月10日(水)	「伝わる広報・伝わらない広報」講師 ウェブサイト「東京図書館制覇!」運営者 竹内庸子氏	42人
図書館長研究協議会	9月11日(火)	グループ討議・講話「図書館の困難事例に対する法的対処」講師 鍵水 三千男 氏 千葉県市町村総合事務組合法務専門員	35人
児童サービス基礎研修会 全5回	6月14日(木)	第1回 「児童奉仕概論」 会場 千葉県立美術館 講師 佐倉市立志津図書館 小廣早苗氏	42人
	6月21日(木)	第2回 「絵本・物語の選書」 会場 千葉県立美術館 講師 千葉市中央図書館 古水加代子氏	42人
	7月5日(木)	第3回 「おはなし会の運営について」 「絵本の読み聞かせ演習」 会場 千葉県立美術館 講師 当館職員	42人
	9月20日(木) 午前	第4回 「ノンフィクションの選書について」 講師 市川市中央図書館 高柳公香氏 「レファレンスサービスについて」 会場 千葉県立中央博物館 講師 当館職員	45人
	9月20日(木) 午後	第5回 「百科事典の効果的な使い方」 会場 千葉県立中央博物館 講師 ポプラ社 齋木小太郎氏	77人

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
地域行政資料研修会	11月16日(金)	第1回「地域行政資料の探し方入門」 会場 千葉県立中央図書館 閲覧室 講師 当館職員 「菜の花ライブラリーの解説」 講師 当館職員 「地域行政資料の探し方 ひとり一問一答」 講師 当館職員	13人
	12月6日(木)	第2回 会場 千葉県文書館 事例発表「木更津市立図書館の地域資料サービスについて—古文書・公文書整理への取り組み」発表者 木更津市立図書館 平野佐知恵氏 事例発表「野田市立興風図書館の地域資料サービスについて—デジタルアーカイブの作成と提供」発表者 野田市立興風図書館 川嶋斉氏 講義「公立図書館における地域資料サービスの現状について—『公立図書館における地域資料サービスに関する報告書』より」 講師 慶應義塾大学文学部 根本彰氏 視察「千葉県文書館の視察—古文書を中心に」千葉県文書館 柴崎邦彦氏	21人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス基礎研修)	6月15日(金)	「レファレンスサービス実践の基礎」 「インターネットを活用した調べ方」 「レファレンス演習/参考図書及びインターネット情報源解題」 各講師 当館職員	38人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	1月29日(火)	「レファレンス・ツールの評価と構築—即戦力演習を中心に—」 会場 千葉県立西部図書館 研修室 講師 千葉経済大学短期大学部 齊藤 誠一氏	21人
課題解決支援 サービス研修会	2月1日(金)	テーマ「『本』をめぐる博図公連携」 会場 千葉市生涯学習センター 大ホール 報告1 千葉県博図公連携事業の紹介 1. 巡回展示「写真でつづる千葉県と鉄道」から生れた連携 千葉県立中央博物館 島立理子氏 2. 八千代市内における博図公連携の実践 八千代市立郷土博物館 常松成人氏 報告2 図書館って何だろう？ 本の展示って何だろう？ 千代田区立日比谷図書文化館 樋口万季氏 報告3 書籍の展示 —魅せると安全性の両立— 東洋文庫ミュージアム 篠木由喜氏 報告4 絵本がひらく、博物館の楽しみかた 国立科学博物館 小川達也氏 パネルディスカッション パネラー 樋口万季氏、篠木由喜氏、小川達也氏 コーディネーター 安宅仁志 (千葉県立中央図書館 副館長)	117人 (うち 県内公共図書館・読書施設職員41人)

【西部図書館】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
公共図書館新任職員研修会	5月23日(水)	「公共図書館の役割、利用サービス、レファレンスサービス、児童サービス及び相互協力業務等」講師 当館職員	34人
障害者サービス研修会 全2回	7月6日(金) 7月13日(金)	第1回 障害者サービスを始めるための基礎の基礎 講義「公共図書館の障害者サービスの理念・各サービスの紹介と具体的実施方法」 講師 当館職員 演習「障害者サービス用資料について（入手方法、相互貸借、サピエ図書館・国立国会図書館サーチの活用方法）、サピエ図書館体験」 講師 当館職員 第2回 講義①「視覚障害者、聴覚障害者、高齢者サービスについて 市町村立図書館での取り組みを中心に」 講師 枚方市立中央図書館 岡室公平氏 講義②「第6次千葉県障害者計画の概要について」 講師 健康福祉部障害者福祉推進課 加藤良則氏	24人 32人
課題解決支援サービス研修会	7月11日(水) 10月5日(金)	第1回 講義「国立国会図書館が提供するレファレンスに役立つデータベースについて～国立国会図書館オンラインを中心に～」 講師 国立国会図書館 阿部幸江氏 第2回 講義「課題解決支援としての「行政・議会支援」」 講師 愛知県田原市中央図書館 豊田高広氏 事例発表 県内における行政・議会支援サービス 発表者 山武市立成東図書館 豊山希巳江氏 県立中央図書館職員	33人 31人

【東部図書館】

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
公共図書館新任職員研修会	5月17日(木)	「公共図書館の役割、利用サービス、レファレンスサービス、児童サービス及び相互協力業務等」講師 当館職員	12人
学校図書館運営研修会	7月31日(火)	「資料の簡易補修」（講義・実演・実習） 講師 当館職員	13人
課題解決支援サービス研修会	11月30日(金)	「障害者サービス はじめの一步を踏み出そう」 講師 相模女子大学 非常勤講師 新山順子氏	19人
千葉経済大学短期大学部との連携研修会	3月7日(木)	「中小図書館における ビジネス支援サービスへの対応」 講師 千葉経済大学短期大学部 教授 齊藤誠一氏	15人

第2 子どもの読書活動の推進

1 子どもの読書活動の推進拠点

(1) 子どもの読書活動推進センター機能の充実

読み聞かせボランティア入門講座を鴨川市、大網白里市で開催、読み聞かせ講座をさわやかちば県民プラザと共催で開催したほか、県教育委員会主催の「千葉県子ども読書の集い」、「公立図書館と学校の連携を図るための研修会」への参加や、市町村の求めに応じて研修・講座の講師として職員を派遣する（7回）など、関係機関・団体等との連携推進を図り、子どもの読書活動推進センター機能の充実に努めた。

(2) 来館者サービス

資料の貸出し、子どもからの調査相談、読書相談及び児童資料・子どもの読書活動に関する大人からの調査相談のほか、定例おはなし会や親子で楽しむえほんの会、冬のおはなし会を開催した。また、「子育て支援情報コーナー」の資料や情報の充実を図った。子育てに関する新着図書案内を作成し、館内で配布した。また、生涯学習課や子育て支援課と連携し、子育てに関するパンフレット等の収集、提供を進めた。〈中央〉

(3) 市町村立図書館等への支援

市町村立図書館等への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行った。

「児童サービス基礎研修会」を開催し、市町村立図書館等の児童サービス担当職員の養成に努めた。〈中央〉

(4) 読み聞かせボランティアの養成

「読み聞かせボランティア入門講座」を開催するとともに、市町村立図書館等や学校図書館が実施する子どもの本の読み聞かせボランティアを養成する講座等に講師として職員を派遣した。〈中央〉

(5) 出張おはなし会

博物館等関係機関で開催するイベント等に協力し、職員が出向いて行って、おはなし会や読み聞かせを行った。〈中央〉

(6) ヤング・アダルトサービスの実施

県立図書館ホームページ内のヤング・アダルトサービスのページの充実に努めた。〈中央〉

(7) 障害者用資料の製作

児童資料の点訳絵本等を製作した。〈中央〉

(8) 広報・啓発業務

- ・子ども読書の日記念展示の開催
- ・子ども読書の日おはなし会の開催 〈中央〉
- ・生涯学習課主催の「子ども読書の集い」への出展 〈中央〉

2 学校図書館への支援

(1) 高等学校・特別支援学校向け貸出用資料の整備

「高等学校・特別支援学校用セット」を30年度は新規1セット、改訂12セット156冊を整備した。総セット数 129セット、総冊数3,092冊

県立図書館の学校支援事業を周知し、活用を促すために、様々な機会を捉えて事業説明を行った（特別支援学校副校長・教頭会議、学校図書館担当者会議、県総合教育センター初任者研修・経験者研修等）。

(2) 資料の貸出し・運営相談等

県内の高等学校・特別支援学校等と連携し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行った。
資料搬送方法：協力車（西部・東部）、宅配便（中央・西部（協力車未巡回高等学校））
また、高等学校、特別支援学校の運営相談を行った。

- ・中央図書館（実施なし）
- ・西部図書館（高等学校（管内11校）、特別支援学校は、訪問読書支援の際に、併せて実施。）
- ・東部図書館（奉仕対象地域内の高校21校及び特別支援学校6校、大学2校に対し、延べ59回の運営相談を実施した。）

【中央図書館】

(ア) 宅配便による資料搬送 登録校 68校

中央図書館の利用未登録高校・特別支援学校9校へ事業説明を行い4校が新規登録した。要望の多い貸出セットや買換が必要なセットについて調査検討を進めた。

(イ) 高等学校への講師派遣

保育等への進路を希望する生徒や図書委員会活動への支援のため、高等学校等へ絵本の読み聞かせについての講師として職員を派遣した。

（延べ11校 派遣先：我孫子高、市川南高、市原高、市原八幡高、柏井高、千葉女子高、津田沼高、四街道高、成田西陵高、松戸六実高、犢橋高）

(ウ) 小・中学校図書館との連携・支援

近隣中学校への出前授業を実施した（2校 延べ238人）。

小中学校図書館には市町村立図書館等を通しての資料貸出しを行った。また、小学校の学習でも使える千葉県の話リストを追加作成し公開した。

小学校の教科単元別資料リスト（国語科・生活科・理科）を作成・公開するとともに、運営相談時に市町村読書施設等へ紹介した。

【西部図書館】

- ・宅配（ゆうパック便）による資料搬送（管内協力車未巡回校対象） 登録校 26校
- ・高等学校図書館相互協力担当者会議の開催（6月19日（火） 34人出席）

【東部図書館】

- ・協力車巡回による資料搬送
- ・学校図書館運営研修会をはじめ、様々な機会を通じて学校用セットや巡回展示等の利用促進を図った。また、協力車未巡回校に対して巡回活用を促し、新たに1校が加わった。
- ・東総地区高等学校図書委員連絡協議会の総会及び研修会において高校支援について説明した。
- ・レファレンス対応

(3) 特別支援学校への訪問による読書支援

【中央図書館】

7校を訪問し、読み聞かせ等を行った。

【西部図書館】

管内の学校に希望調査を行い、希望のあった7校に対して、訪問読書（読み聞かせ）を行うとともに、1校の高等部で「図書館の使い方」の授業を実施した。また、1校の小学部が来館し、読み聞かせや読書活動を行った。

【東部図書館】

絵本の読み聞かせを中心とする「おはなし会」を5校で実施した。

第3 課題解決支援図書館機能の充実

1 調査研究に役立つ資料の収集と情報の提供

(1) 県立全館の資料整備

県民の調査研究活動を支援し、市町村立図書館等及び高等学校等への協力・援助を行うため、3館が連携・分担して収集、整備した。

資料整備実績

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
購入図書資料	4,657 冊	2,377 冊	4,111 冊	11,145 冊
寄贈図書資料	3,026 冊	390 冊	643 冊	4,059 冊
千葉県関係資料	1,707 冊	256 冊	277 冊	2,240 冊
逐次刊行物(購入)	152 タイトル	279 タイトル	193 タイトル	624 タイトル

(2) 資料の保管

収集資料を継続的・効率的に維持保存・利用するため、蔵書点検(2月13日～2月21日)を行った。また、今後の施設整備を見据え、除籍した重複資料等の一部保管を行った。

(3) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館除籍資料を収集した。

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
図 書	32 冊	0 冊	181 冊	213 冊
雑 誌	27 冊	214 冊	0 冊	241 冊

(4) 電算業務

・業務系システム

県立図書館の電算システムは、昭和59年度から開発した独自システムを西部図書館開館時(昭和62年)に導入したのが最初である。平成8年度には同システムの改良版を中央図書館に、また、平成10年度に開館した東部図書館にも導入することにより、3館独自の電算システム運用体制が整備された。その後、平成19年から、3館のシステムを統合した「千葉県立図書館統合電算システム」に移行し、中央図書館が管理・運用を行っていた。平成24年11月、電算システムを一新(契約:NECキャピタルソリューション開発:日本電気株式会社)し、更に機能を充実させた「千葉県立図書館情報システム」を導入し、現在は2期目に入っている。

《電算システムの概要》

館名	現行システム（平成29年11月更新）				電算システムの 導入時期	
	機器名	基本ソフト名	端末機器(台)（※3）			
			業務用	利用者用		
中央	日本電気(株)	Express 5800 (※1)	LiCS-Web II	41	20	平成8年
西部				32	26	昭和62年
東部				27	23	平成8年(※2)

(※1) 本体は外部に設置している (※2) 東部図書館は開館準備時から導入

(※3) 他に研修用21台、予備5台

・インターネット系システム

平成13年から導入した図書館ホームページでは、所蔵資料の検索・予約、県内図書館横断検索(51機関、69コンテンツ)、メールレファレンスの受付などのほか、図書館からの様々な情報発信を行っている。

(ホームページへのアクセス件数 平成30年度 322,168件)

《横断検索参加自治体及び施設一覧》

(平成31年3月末現在)

自治体 (35市2町1村)	[中央エリア] 千葉市、市原市、習志野市、八千代市、佐倉市、成田市、四街道市、八街市、富里市、茂原市、勝浦市、館山市、鴨川市、南房総市、木更津市、君津市、袖ヶ浦市、酒々井町、長生村
	[西部エリア] 市川市、船橋市、浦安市、松戸市、柏市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市
	[東部エリア] 銚子市、香取市、匝瑳市、旭市、東金市、山武市、大網白里市、横芝光町
大学(4)	千葉大学附属図書館、千葉科学大学図書館、城西国際大学水田記念図書館、放送大学附属図書館
専門(2)	アジア経済研究所図書館、財団法人成田山仏教図書館
県類縁施設(3)	千葉県文書館、千葉県総合教育センター、千葉県立博物館
その他(4)	国立国会図書館、国立情報学研究所、科学技術振興機構、日本書籍出版協会

・その他システム

平成24年度から3館で公衆無線LANサービスを導入している。

2 調査研究や政策形成の支援

(1) 調査相談業務(レファレンスサービス)

ア 調査回答

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料、インターネット情報源、商用データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や市町村立図書館等からの調査相談に對し的確に回答した。

イ パスファインダー（調べ方案内）、ブックリストの作成

県民ニーズを把握し、県民が関心を持つテーマに関する調べ方を紹介するパスファインダーを作成した（新規4件、改訂15件）。

また、時事問題等に関する新たな情報提供サービスを開始するために、先行事例を参考にサービスの目的や対象、内容の検討を進めた。「児童虐待問題」「読んで楽しむ！オリンピック・パラリンピック」「平成を振り返る」など各館で時宜にかなった展示を定期的に行うとともに、ブックリストを作成、提供した。並びに、「オリンピック・パラリンピックを調べる」「かこさとしさん、ありがとう！」など児童書関連の展示リスト12件、教科書単元別リスト11件を作成した。

<調べ方案内(パスファインダー) 平成30年度作成・改訂一覧>

テ ィ ー マ	作 成 館
企業・業界情報の調べ方	中央図書館
教科書の調べ方（改訂）	〃
千葉県の「統計」について（改訂）	〃
千葉県の「市町村」について（市町村史等一覧）（改訂）	〃
日本の昔話について調べる	〃
児童書の作家・画家について調べる（改訂）	〃
児童書（絵本・物語）を探す～テーマやあらすじから～（改訂）	〃
絵本の読み聞かせについて調べる～グループの子どもたちを対象に～（改訂）	〃
地層・地形について調べる	西部図書館
新型インフルエンザについて調べる（改訂）	〃
視覚障害について調べる（改訂）	〃
「学習障害」を調べる（改訂）	〃
肥満症・メタボリックシンドロームについて調べる（改訂）	〃
医療情報について調べる（改訂）	〃
「がん」を調べる（改訂）	〃
「就労に役立つ情報」を調べる（中高年向け）（改訂）	〃
「病院」を調べる（改訂）	〃
認知症について調べる	東部図書館
人物情報について調べる（外国人編）（改訂）	〃

ウ レファレンス事例の公開

調査回答事例の中から公開用事例として84件を県国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、県民がホームページで閲覧できるよう登録した。

エ 国立国会図書館の提供する「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」が調査研究に活用されるよう県民への広報を行うとともに、資料の提供、複写サービスを行った。

オ オンラインデータベースの拡充

県民の多様なニーズに応えられるよう新たなデータベースを導入し、オンラインデータベースの拡充を図るため、先進館の導入事例などを参考に、県民の調査・研究の役に立つデータベースを選定し、次年度から運用する準備を進めた。

なお、電子出版制作・流通協議会の発表などを参考としながら、電子書籍の動向調査を進めている。電子書籍については、電子出版制作・流通協議会の発表などを参考としながら、動向調査を進めた。

カ 課題解決支援の取組と講座の開催

中央図書館では、「暮らしに役立つ法律・判例情報コーナー」の法律・判例関係資料の充実、関連情報の提供に努めた。西部図書館では、「医療・健康情報コーナー」の充実、関連情報の提供に努め、国立がん研究センターから寄贈されたがんに関する資料を設置した。東部図書館では、シニアの暮らしに役立つ資料の充実、関連情報の提供に努めた。

また、中央図書館では、県民向けの課題解決支援講座「暮らしに役立つ法律・判例情報講座」（2回）やデータベース活用講座（2回）を開催した。西部図書館では、県民向けの課題解決支援講座「健康・医療情報講座」（1回）、データベース活用講座（2回）を開催した。東部図書館では、県民向けの課題解決支援講座「はつらっライフ講座」（2回）、データベース活用講座（2回）を開催した。

< 課題解決支援講座（一般向け） >

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
【中央図書館】 暮らしに役立つ法律・判例情報講座	11月14日(水)	「自治体職員も知っておきたい民法改正 -法情報データベース活用術-」 講師 第一法規株式会社 山内享郎氏	12人
	12月2日(日)	「ネット時代の法律トラブル」 講師 法テラス千葉法律事務所 弁護士 野原郭利氏 会場 市原市立中央図書館 視聴覚ホール	16人
【中央図書館】 データベース活用講座	6月16日(土)	「菜の花ライブラリー活用講座」 講師 当館職員	8人
	8月25日(土)	「聞蔵Ⅱビジュアルの効率的な検索方法」 講師 朝日新聞社 法人営業部 聞蔵サポート 汲田和久氏	9人
【西部図書館】 健康・医療情報講座	6月16日(土)	「知っていますか適量飲酒～正しいお酒との付き合い方～」 講師 船橋北病院 副院長 月間秀樹氏 (松戸健康福祉センターとの連携)	25人
【西部図書館】 データベース活用講座	6月30日(土)	「書庫見学会・菜の花ライブラリー活用講座」 (第1回) 講師 当館職員	6人
	11月8日(木)	(第2回) 講師 当館職員	4人
【東部図書館】 データベース活用講座	8月2日(木)	「菜の花ライブラリー活用講座」(第1回)	4人
	9月15日(土)	「」(第2回) 講師 当館職員	3人
【東部図書館】 はつらっライフ講座	10月13日(土)	「はつらっ世代の栄養管理」 講師 総合病院国保旭中央病院 管理栄養士 坂井厚夫氏	21人
	11月10日(土)	「知っておきたい 相続・遺言」 講師 千葉県金融広報委員会 金融広報アドバイザー 黒羽健司氏	25人

(2) 閲覧業務

ア 資料の館内利用・貸出し

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等所蔵資料や、県内外の他の公共図書館及び国立国会図書館、大学図書館等からの相互貸借により、資料の提供や貸出し、複写サービスを行った。

イ 図書館への来館が困難な利用者に対する情報提供

自宅への図書の直接貸出を希望する県民（資料貸出券の発行を受けている方）に対して、図書館に来館せずに郵送（送料自己負担）による図書（一部の資料を除く）の貸出し、返却サービスを行った。9月から郵送貸出サービスを開始し、14件38冊の利用があった。

ウ 資料の展示

所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、県民に広く周知するために、各館展示コーナー等を利用し、定期的に資料展示を行った。

<資料展示（展示コーナー等による資料の紹介）>

【中央図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
千葉県資料室	震災の記録を図書館に	通年
新聞雑誌室	明治維新150年 千葉県関係資料の紹介その1 千葉県歴史原稿	4月21日（土）～6月14日（木）
	明治維新150年 千葉県関係資料の紹介その2 柴原和	6月16日（土）～7月29日（日）
	明治維新150年 千葉県関係資料の紹介その3 地方自治制度	7月31日（火）～9月29日（土）
	明治維新150年 千葉県関係資料の紹介その4 重城保	9月30日（日）～12月2日（日）
	－伊能忠敬没後200年－千葉県関係資料の 紹介 その1 地図	12月4日（火）～12月28日（金）
	－伊能忠敬没後200年－千葉県関係資料の 紹介 その2 日記・書簡類	1月5日（土）～2月11日（月）
	－伊能忠敬没後200年－千葉県関係資料の 紹介 その3 伝記・研究書・小説・書誌等	2月22日（金）～4月18日（木）
	東日本大震災と防災関連図書	2月26日（火）～4月18日（木）
児童資料室	子ども読書の日・こどもの読書週間展示 石井桃子展 ーかつら文庫設立60周年・没後 10年ー	4月1日（日）～5月13日（日）
	いわさきちひろ生誕100年	5月15日（火）～6月14日（木）
	かこさとしさん、ありがとう！	5月24日（木）～6月30日（土）
	100さつ100虫！虫の本	6月16日（土）～7月31日（火）
	中央博物館との連携展示「恐竜ミュージアム」	7月14日（土）～9月24日（月）
	図鑑いろいろ	9月26日（水）～10月18日（木）
	読書週間記念展示「みんなが読める、だれでも 読める」	10月20日（土）～11月30日（金）
	星座を見つけよう	12月8日（土）～1月17日（木）
	博図公連携事業・児童書展示「絵本でのりも の博物館」	1月19日（土）～3月31日（日）

※一般資料室にて「雨と防災」「ベストセラーで平成を振り返る」等のミニ展示を、通年で22回実施。児童資料室では「ハロウィン」「月・夜の本」等のミニ展示を通年で18回実施。

【西部図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
正面玄関 及び館内	害虫・害獣について調べる	4月21日（土）～5月17日（木）
	世界の未来を考える	4月21日（土）～6月14日（木）
	みずず読書アンケート特集	4月21日（土）～6月27日（水）
	聴覚障害、手話について調べる	5月19日（土）～7月6日（金）
	知っていますか適量飲酒～正しいお酒との付き合い方～	6月16日（土）～10月18日（木）
	たばこ問題について考える	7月7日（土）～8月5日（日）
	夏休み展示	7月21日（土）～9月2日（日）
	戦争について調べる～図書館に寄せられた質問から	8月7日（火）～8月31日（金）
	夏の高校野球100年～甲子園熱闘の記録～	8月15日（水）～8月31日（金）
	敬老の日特集	9月1日（土）～9月20日（木）
	追悼さくらももこさん	9月6日（木）～9月28日（金）
	この本、読んだ？～これから本に出会う人へ～	9月20日（木）～11月15日（木）
	明治150年記念 産業遺産	9月21日（金）～10月18日（木）
	祝ノーベル医学・生理学賞受賞！ 本庶佑氏	10月4日（木）～11月4日（日）
	「地層」～チバニアン（千葉時代）とは何か～	10月20日（土）～12月20日（木）
	障害者週間	11月17日（土）～12月9日（日）
	房総・丘陵	11月30日（金）～12月23日（日）
	平成の科学ニュース	12月11日（火）～12月28日（金）
	光を読む、光に親しむ	12月22日（土）～2月11日（月）
	著作物等の保護期間が70年になりました	1月4日（金）～2月11日（月）
	猪、イノシシ、いのしし、亥！ 十二支にちなんで	1月5日（土）～1月17日（木）
	心があたたかくなる本	1月19日（土）～2月11日（月）
	読んで楽しむ！オリンピック・パラリンピック	2月22日（金）～4月19日（金）
	地震を学ぶ、身を守る	2月22日（金）～4月19日（金）
祝 磯崎新ブリツカー賞受賞	3月20日（水）～4月19日（金）	
春をみつける	3月22日（金）～4月19日（金）	

※カウンター前にて「ちば県民だより」トピックスのミニ展示を、通年で実施。

【東部図書館】

展示場所	展 示 名	期 間
展示 コーナー	漱石と龍之介 房総の旅	4月21日（土）～6月14日（木）
	手塚治虫 生誕90年	6月16日（土）～8月17日（金）
	明治を生きた女性たち～明治維新150年～	8月18日（土）～10月18日（木）
	『広辞苑』の父新村出	10月20日（土）～1月17日（木）
	新村出博士と親交があった千葉県の歌人	1月10日（木）～1月17日（木）
	特集・高橋順子～第3回旭いとおか文芸賞 「海へ」によせて～	1月19日（土）～4月18日（木）
資料紹介 コーナー	千葉にまつわるエトセトラ～こども読書週間～	4月21日（土）～6月14日（木）
	東山魁夷 生誕110年	6月16日（土）～8月17日（金）
	明治維新人物列伝～明治維新150年～	8月18日（土）～10月18日（木）
	— 20 — 東部図書館開館20周年記念	10月20日（土）～12月20日（木）
	冬景色いろいろ	12月22日（土）～2月11日（月）
“平成”をふり返る	2月22日（金）～4月18日（木）	

※カウンター前にて「祝 芥川賞・直木賞」等のミニ展示を、通年で10回実施。

(3) 各種講座の開催

各種講座を実施し、県民の学習機会の拡充に努めた。

【中央図書館】

県民の読書活動の推進や課題解決を支援するため各種事業を実施するとともに、出版放送関係への情報提供としてNHK - FM放送番組に職員が出演し、本の紹介をした。

<平成30年度実施事業>

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
定例おはなし会	毎週土曜日 午後	全44回 語り手 当館職員	延べ186人
親子で楽しむえほんの会	隔月開催	7月13日(金)<1回> 語り手 当館職員	2人
読み聞かせボランティア入門講座	9月24日(月)	「絵本の読み聞かせ－選び方と読み方の実践－」 会場 鴨川市立図書館 講師 ゆか下文庫・主宰 小谷孝子氏 ゆか下文庫 東ひろみ氏	40人
	11月15日(木)	会場 大網白里市保健文化センター 講師 にんじん文庫・主宰 入交静氏	18人
読み聞かせ講座 (教職員向け)	8月10日(金)	講師 当館職員 [さわやかちば県民プラザ共催]	19人
読み聞かせ講座(県民向け)	2月1日(金)	講師 当館職員 [さわやかちば県民プラザ共催]	41人
きょうりゅうのおはなし会	7月22日(日)	会場 県立中央博物館	51人
	8月12日(日)		11人
	8月19日(日)	会場 県立中央博物館 語り手 当館職員	30人
冬のおはなし会	12月16日(日)	語り手 当館職員	27人
のりもののおはなし会	2月24日(日)	語り手 当館職員	6人
くらしに役立つ法律・判例情報講座		前掲	
データベース活用講座		前掲	
読書支援機器活用講座 全3回	8月23日(木)	第1回 音声読書器活用講座 講師 株式会社アメディア 望月優氏	9人
	8月30日(木)	第2回 デジタル録音図書デイジー活用講座 講師 グループともしび 平松彰見氏	8人
	9月11日(火)	第3回 拡大読書器活用講座 講師 株式会社ナイツ 萩原博氏前掲	6人
サピエ図書館活用講座	12月18日(火)	「サピエ図書館」の活用方法とその実践 講師 (株)ラビット 荒川明宏氏	13人
図書館音訳者養成講座 全2回	1月22日(火)	「聞きやすい対面朗読・録音図書を製作するための音訳技術を身につける」 講師 音訳指導者 高橋久美子氏	8人
	2月5日(火)		9人

出版放送関係への情報提供

番組名	内 容
NHK FM放送番組 「ひるどき情報ちば」内 「おすすめブック」出演	毎月第4火曜日、NHK千葉放送局FM放送「ひるどき情報ちば」にて、当館職員が県民の方々に読んで欲しい一般書や児童書を12回にわたり紹介した。

【西部図書館】

県民生活上の課題解決を支援するため、各種事業を実施するとともに、当館の特色（自然科学・工学）を生かした「サイエンス・カフェ」を開催した。

障害者サービスについては、「障害者のための資料デジタル化講座」等を開催し、読書相談など幅広い情報提供に努めた。

<平成30年度実施事業>

事業名	実施日等	実 施 状 況	参加人数
障害者のための資料デジタル化講座	6月1日(金)	第1部 事業説明「県立西部図書館におけるテキストデータ化事業について」講師 当館職員 講義・実習 講師 全国音訳ボランティアネットワークテキスト訳者 吉岡眞喜子氏 第2部 講義「電子書籍のアクセシビリティの現状と展望～図書館サービスにおける電子書籍の可能性について～」 講師 専修大学教授 植村八潮氏	32人
サイエンス・カフェ	10月27日(土)	「チバニアンはどうすごいか ～地中海北岸（主にギリシャ）と市原市田淵の事例から～」 講師 千葉県立中央博物館 奥田昌明氏	37人
健康・医療情報講座		前掲	
図書館音訳者養成講座（初級）	9月8日(土) 9月22日(土) 10月13日(土) 10月27日(土) 11月10日(土) 11月17日(土) 12月1日(土) 12月8日(土) 12月22日(土) 1月12日(土) 1月26日(土) 2月9日(土)	第1回 「基礎的な「発声」「発音」(1)」 第2回 「基礎的な「発声」「発音」(2)」 第3回 「「日本語のアクセント」について」 第4回 「自然で聞きよい音訳の土台。意味の塊を作る「文アクセント」について」 講師 元・都立中央図書館音訳者 高橋久美子氏 第5回 「ポイントをつかんで読む」 第6回 「聞き取りやすい読み・発音」 第7回 「補足の読み・同音異義語」 講師 東京都朗読指導員養成講習会講師 恵美三紀子氏 第8回 「意味のまとまりごとに正しい日本語のイントネーションで読む」 第9回 「告知文の読み」 講師 新宿区立図書館音訳者 南部優子氏 第10回 「図表等の読み」 講師 当館音訳者 安原素子氏 第11回 「読みの調査法(1)」 第12回 「読みの調査法(2)」 講師 当館職員	延べ278人

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
データベース活用講座		前掲	
障害者のための読書支援機器活用講座	1月23日(水)	講演「当事者視点で語るパソコン・スマートフォンの操作の実際」 講師 特定非営利活動法人スラッシュ 副代表 山賀信行 氏 事例発表「県立図書館で利用できる読書支援機器について」 講師 当館職員	43人

【東部図書館】

開館20周年を記念して講演会を開催した。県民の読書活動推進のため「文学講座」「歴史講座」を開催するとともに県民生活上の課題解決を支援するために「はつらっライフ講座」、「データベース活用講座」を開催した。

また、図書館利用の拡充を図るために、書庫見学と検索演習を行う「図書館ナビ」を実施した。障害者サービスについては、音訳者の意義と役割について基礎的な知識を習得するために「図書館音訳者養成講座」を開催した。

<平成30年度実施事業>

事業名	実施日等	実施状況	参加人数
開館20周年記念講演会	10月28日(日)	「科学と生きる喜びー光触媒の発見と応用、そしてこれからー」 講師 藤嶋昭氏(東京理科大学 名誉教授)	98人
図書館音訳者養成講座 全2回	10月2日(火) 10月23日(火)	「話すように」読む」 講師 音訳指導者 川上正信氏	10人 10人
文学講座	6月9日(土)	「漱石と龍之介 房総の旅」 講師 詩人・評論家 中谷順子氏	49人
歴史講座	1月12日(土)	「『広辞苑の父』 新村出博士の生涯ー佐原で学んだ少年時代から辞書編纂に携わるまでー」 講師 新村出記念財団囑託 新村恭氏	76人
図書館ナビ	第2日曜 第4土曜	全11回 検索演習又はデータベース講座と書庫見学	延べ21人
データベース活用講座		前掲	
はつらっライフ講座		前掲	

(4) 行政支援

県民生活の維持向上等に係る施策を企画・立案している県庁各課等へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行った(30年度貸出冊数:1,789冊)。

また、県出先機関への郵送サービスを行った(30年度貸出冊数:141冊)。

第4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

1 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存

(1) 資料の計画的な収集

千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるとともに、文書館などの関係機関と連携し、県庁ホームページや文書などにより、官公庁など関係部署へ定期的かつ幅広く寄贈依頼を行った。また、新聞記事や広報などにより資料の刊行情報を入手した際には改めて発行元に寄贈依頼を行い、幅広い収集を行った。

・千葉県資料受入数 購入296 寄贈1,944 合計2,240冊

(2) チラシ等の作成・配布、研修会の開催と広報

千葉県に関する調べ案内（パスファインダー）、千葉県資料のテーマ別資料リスト、菜の花ライブラリーの使用方法の印刷物を作成・配布した。また県内公共図書館等職員を対象に、地域行政資料に関する知識を深め、日常のレファレンス業務や資料の保存・提供の充実を図るため、研修会を実施した。

(3) 菜の花ライブラリー活用講座の実施

県民が千葉県についての情報を効率的に幅広く入手し、千葉県への理解を深めるために、ホームページで公開している千葉県関係データベース「菜の花ライブラリー」の利用方法を学ぶ機会として菜の花ライブラリー活用講座を実施した。

(4) 東日本大震災及び防災関連資料・情報の収集・提供

国立国会図書館と連携し、千葉県における東日本大震災や防災に関する資料・情報の収集・保存等の取組を強化するため、チラシ等により県民に寄贈を呼びかけるとともに、図書館ホームページの東日本大震災千葉県関連サイトによる情報提供に努めた。

2 千葉県関係資料の情報発信の推進

(1) 千葉県関係の情報検索ツールの充実

国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供、千葉県関係の新聞・雑誌記事索引、千葉県に関する調べ案内（パスファインダー）、千葉県資料のテーマ別資料リスト等の情報検索ツールを作成し、レファレンスサービスの充実に努めた。

・千葉県関係として国立国会図書館レファレンス協同データベース24件、パスファインダー2件、テーマ別リスト12件を追加した。

(2) 貴重資料保存のためのデジタル化

地図・郷土誌、県が編集発行した行政資料などのうち、刊行から時間が経過して著作権が消滅した資料を選んでデジタル化を実施した。また作成したデジタル画像データを菜の花ライブラリーで公開し、インターネットを通じて閲覧できるようにした。

なお、国や関係団体のデジタルアーカイブに係る議論の動向を注視することで、法令や制度についての理解を深め、今後の資料デジタル化の方向性を検討中である。

第5 知の創造と循環を生み出す公共の場

1 博物館など関係機関との連携

博物館や文書館、県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施した。

関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣した。

関係機関との情報共有を進めるため、中央博物館、さわやかちば県民プラザ、文書館の担当者による意見交換会を開催した。

このほか、県立図書館所蔵資料のオリンピック、パラリンピック関連資料の展示を行った。今後、関係機関と連携することで、より充実した内容としていく。

【中央図書館】

- ・中央博物館との連携（きょうりゅうのおはなし会<92人参加>、のりもののおはなし会<6人>、「十二支」「のりものの絵本」「千葉県と鉄道」に関する展示）
- ・県民プラザとの連携（読み聞かせ講座<2回開催、合計60人参加>）
- ・法テラス千葉法律事務所との連携（「くらしに役立つ法律判例情報講座」<16人>）
- ・文書館との連携（地域行政資料研修会での文書館視察<21人>）
- ・千葉県文化会館との連携（おはなし会<24人>）
- ・千葉県博図公連携事業実行委員会との連携（シンポジウム等）

【西部図書館】

- ・中央博物館との連携（サイエンス・カフェ<37人>）
サイエンス・カフェ関連展示「地層」～チバニアン（千葉時代）とは何か～
- ・松戸健康福祉センターとの連携（健康・医療情報講座<25人>）

【東部図書館】

- ・東総文化会館との連携（ファミリーコンサートでの絵本展示<36冊>北総四都市の画像データの提供）
- ・新村出記念財団との連携（歴史講座<76人>）
- ・国保旭中央病院、県金融広報委員会との連携（「はつらっライフ講座」<2回で合計46人>）、
- ・千葉県博図公連携事業実行委員会との連携（巡回パネル展示「写真でつづる千葉県と鉄道」、シンポジウムへの講師派遣）

2 すべての県民が利用しやすく快適な社会教育施設

(1) 高齢者・障害者サービス

年齢や障害のために図書館利用が困難な方が、資料の提供を受けられるように各種サービスや研修会を実施し、市町村立図書館への普及を図った。また、先進事例を調査・研究し、サービスの推進を図るため、中央図書館児童資料室内に点訳絵本やさわる絵本、LLブックなどバリアフリー資料を集めた「りんごの棚」を設置した。このほか、多言語・多文化サービスについて、関東地区都県立図書館長会議で行った情報収集に基づいて研究を進めた。

ア 録音図書の貸出し・製作

希望する録音図書を所蔵資料だけでなく、全国の点字図書館や公共図書館より借り受けて提供した。また、所蔵していない場合は、自館で製作し貸出しを行った。

- ・録音図書の貸出タイトル数：13,532
- ・点訳絵本を2タイトル、録音図書を14タイトル作成した。

イ 対面朗読

図書館音訳者が対面朗読室で、図書館の蔵書や持込みの資料などを朗読する。

ウ 活字資料のテキストデータ化〈西部〉

利用者へ迅速に情報提供できるよう、希望する活字資料をテキストデータ化してパソコン等で音声化するサービスを行った。併せて、作業に従事する図書館音訳者等向けに「障害者のための資料デジタル化講座」を開催した。

エ デジタル化録音図書の配信

製作した録音図書を「視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）」並びに「国立国会図書館視覚障害者用データ送信サービス」へ配信し、利用者がインターネットで利用できる環境整備を推進した。

オ 図書館音訳者の養成

録音図書の製作や対面朗読を行う図書館音訳者を委嘱するとともに、図書館音訳者の技術向上に資するため、図書館音訳者養成講座を開催した。中央・東部図書館では音訳者の資質向上のための講座を、西部図書館では新たに募集して養成するための初級向け連続講座を開催した。

カ 研修会の開催〈西部〉

市町村立図書館等職員の公共図書館における障害者サービスの向上や、特別支援学校教職員への障害者サービスの啓発を目的に、障害者サービス研修会を開催した。

キ 読書支援機器活用講座の開催〈中央、西部〉

活字による読書の困難な方とその支援者や市町村立図書館職員、特別支援学校教職員等を対象に、拡大読書器や活字を読み上げる機器、デジタル録音図書の再生機器の説明会並びにICTを活用した読書の最新動向の紹介等を実施した。

ク サピエ図書館活用講座の開催〈中央〉

インターネットを活用して、録音図書・点字図書オンラインデータベースを体験する講座を開催した。

ケ 高齢者サービスの推進〈東部〉

高齢者サービスの課題を整理し、「はつらっライフ講座」等を開催するとともに、「はつらっライフコーナー」の充実を図った。

(2) 広報・啓発業務

県立図書館の機能・役割を県民に広く周知するために、「要覧」、「千葉文化千葉県立中央図書館報」、「West Library 千葉県立西部図書館だより」、「知識は旅をする千葉県立東部図書館だより」、「利用案内」の編集・発行等のほか、次の事業を行った。

ア 県立図書館ホームページの充実

イ オリンピック・パラリンピックをテーマにした展示の実施。

ウ ソーシャルネットワーキングサービスを活用した所蔵資料・事業内容紹介

エ 千葉県資料の県民向け広報の実施〈中央〉

オ FMラジオ放送への出演や広報誌等による所蔵資料・事業内容紹介〈中央〉

カ 職場体験・インターンシップの受入れ〈西部・東部〉

小・中学生、高校生の職場体験、インターンシップの高校生・大学生を受け入れた。

第6 県立図書館の再編準備

平成30年度からプロジェクトチームを設置し、1館集約に向けた物流や研修、資料収集等といった課題の整理及び検討を行った。

- ・物流体制の課題等についての検討
- ・県内最後の1冊保存体制の検討：国内の先事例について文献調査を行った。
- ・重複して所蔵している図書については、狭隘化の著しい中央図書館から優先して廃棄又は譲渡作業を行った。1館集約に伴う図書の収集、整理方法については、他県の事例を参考にしながら検討した。

第7 行動計画の取組・推進

(1) 取組の推進

「千葉県立図書館行動計画」（平成30～令和2年度）を、3館が一体となって推進し目標達成に向けて取り組んだ。

(2) 点検・評価（中間報告）

「千葉県立図書館行動計画」の進捗状況を図書館協議会に報告し、意見をいただくとともに、ホームページに公表して図書館サービスの向上や改善に努めた。

(3) 利用者アンケートの実施

図書館利用の満足度等利用状況を把握し、図書館運営の参考とするため、秋の読書週間に実施した。

令和元年度事業計画

【重点事業】

※ 〈 〉 以外は県立3館で実施

1 県内図書館の中核としての役割

- ・資料搬送ネットワークの維持・改善、図書館運営相談 (課題の整理・検討)
- ・県立図書館職員の資質向上 (新たな専門研修の受講)
- ・図書館職員研修センターとしての機能強化 (研修内容の充実)

2 子どもの読書活動の推進

- ・子どもの読書活動推進センター機能の充実
(関係機関との連携及び読書活動の推進 〈中央〉)
- ・家庭における読書活動の推進 (子育て支援情報コーナーの充実 〈中央〉)
(読み聞かせボランティア入門講座の実施 〈中央〉)
- ・学校図書館への支援 (学校向け資料の整備 〈中央〉)
(特別支援学校への訪問読書支援の実施)

3 課題解決支援図書館機能の充実

- ・課題解決に必要な資料情報の蓄積及び支援サービスの実施・普及
(時事問題等に関する新たな情報提供サービスの開始) 【新規】
- ・データベースの拡充 (新たなデータベースの導入)
- ・図書館への来館が困難な利用者に対する情報提供
(貸出資料の郵送サービス(送料自己負担)の実施)
- ・県庁各課等への情報提供サービスの推進(県出先機関への郵送サービスの実施 〈中央〉)

4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

- ・千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存
(チラシ等の作成・配布、研修会の開催と広報 〈中央〉)
(県民向け菜の花ライブラリー活用講座の実施)
- ・千葉県関係の情報発信の推進 (千葉日報記事索引入力の実施 〈西部〉)
(千葉県歴史関係雑誌記事索引入力の実施 〈中央・東部〉)
(デジタル化に係る技術動向等の調査研究 〈中央〉)

5 知の創造と循環を生み出す公共の場

- ・博物館、文書館等との連携 (講座、展示、資料貸出し等の実施)
- ・高齢者サービスの推進 (講座等の実施 〈東部〉)
- ・障害者サービスの実施及び市町村立図書館への普及
(市町村立図書館や県立学校関連の会議・研修会等でのPR)
(図書館音訳者の新規養成 〈西部〉)
- ・図書館の広報戦略の強化 (ソーシャルネットワーキングサービスの活用)
- ・オリンピック・パラリンピック大会に向けた機運の醸成
(コーナーの設置、展示の企画) 【新規】

6 県立図書館の再編準備

- ・1館集約に向けた課題の整理、検討

【業務内容】

第1 県内図書館の中核としての役割

1 市町村の読書環境充実のための支援

(1) 資料搬送ネットワークの維持・改善（図書館協力業務）

ア 資料の図書館間貸出し

市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行う。

イ 図書館連絡車・協力車巡回

業者委託により県立3館の間で連絡車を巡回させ、県内の全ての市町村立図書館等に対し、週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館等の相互貸借資料を搬送する。

ウ 協力レファレンス

市町村立図書館等からの所蔵調査・資料調査・事項調査等の調査・相談等に対し、外部データベースや図書館資料を使って支援を行う。

エ 高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等との連携

県内の高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等と連携し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行う。

資料搬送方法：協力車〈西部・東部〉、宅配便〈中央・西部（協力車未巡回高等学校）〉

オ 図書館未設置市町村支援

図書館未設置市町村の公民館図書室など読書施設に対し、資料の貸出しや協力レファレンス、教科書単元別資料リスト活用の紹介〈中央〉、運営相談等の支援を行う。

カ 担当者会議の開催

市町村立図書館等の相互協力担当職員を対象に、相互協力の円滑な推進を図るための会議を開催する。

【資料搬送コース等】

〈県立間連絡車巡回コース〉

曜日	図書館名
火・木曜日	県立中央 → 県立東部 → 県立西部 → 県立中央 → 県立東部

〈中央図書館協力車巡回コース〉

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	火曜日 金曜日
巡回施設	館山市図書館 南房総市図書館 鴨川市立図書館 勝浦市立図書館 御宿町公民館 いすみ市大原公民館 大多喜町立図書館天賞文庫 睦沢町中央公民館 一宮町まちの図書室	鋸南町立中央公民館 富津市移動図書館 君津市立中央図書館 木更津市立図書館 袖ヶ浦市立中央図書館 市原市立中央図書館 長柄町中央公民館 長南町中央公民館 長生村文化会館 白子町青少年センター 茂原市立図書館	ふれあいプラザさかえ 成田市立図書館 富里市立図書館 八街市立図書館 酒々井町立図書館 佐倉市立佐倉南図書館 千葉県教育振興財団 四街道市立図書館 八千代市立中央図書館 習志野市立大久保図書館 県立保健医療大学 千葉大学附属図書館本館 〃 亥鼻分館	千葉市

〈宅配・連携校〉

県立千葉高校 // 千葉女子高校 // 千葉東高校 // 千葉商業高校 // 千葉工業高校 // 千葉北高校 // 千城台高校 // 生浜高校 // 泉高校 // 若松高校 // 幕張総合高校 // 検見川高校 // 柏井高校 // 天羽高校 // 君津青葉高校 // 袖ヶ浦高校 千葉黎明高校	県立千葉大宮高校 // 千葉西高校 // 磯辺高校 // 犢橋高校 // 茂原高校 // 実籾高校 // 稲毛高校 // 一宮商業高校 // 大多喜高校 // 大原高校 // 大原高校岬キャンパス // 長狭高校 // 安房高校 // 市原高校 // 市原緑高校 // 鶴舞桜が丘高校 千葉経済大学附属高校	県立安房拓心高校 // 館山総合高校 // 千葉特別支援学校 // 桜ヶ丘特別支援学校 // 袖ヶ浦特別支援学校 千葉市立養護学校 県立八千代高校 // 八千代東高校 // 八千代西高校 // 成田国際高校 // 成田北高校 // 成田西陵高校 // 富里高校 // 京葉高校 // 市原八幡高校 // 津田沼高校 植草学園大学附属高校	県立佐倉西高校 // 佐倉東高校 // 佐倉南高校 // 富里特別支援学校 // 八街高校 // 四街道高校 // 四街道北高校 // 長生高校 // 茂原樟陽高校 // 君津商業高校 // 木更津東高校 // 上総高校 // 君津高校 習志野市立習志野高校 東邦大学付属東邦高校 千葉敬愛高校
---	---	--	--

《西部図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	金曜日	木曜日	金曜日
巡回施設	千葉大学附属図書館松戸分館 松戸市立図書館 県立流山南高校 流山市立中央図書館 県立流山はねおたかの森高校 野田市立興風図書館 野田看護専門学校 さわやかちば県民プラザ 県立東葛飾高校 柏市立図書館 我孫子市民図書館 県立沼南高校 // 沼南高柳高校 // 松戸六実高校 // 柏陵高校 // 松戸国際高校	県立我孫子東高校 印西市立大森図書館 白井市立図書館 県立白井高校 船橋市北図書館 鎌ヶ谷市立図書館 県立鎌ヶ谷高校 市川市中央図書館 県立浦安高校 浦安市立中央図書館 県立浦安南高校 // 行徳高校 // 市川南高校	県立松戸高校 // 松戸馬橋高校 // 小金高校 // 流山高校 流通経済大学附属柏高校 柏市立柏高校 県立柏高校 // 柏中央高校 麗澤中学・高校 県立柏南高校 芝浦工業大学柏中学高校 県立船橋北高校 // 船橋豊富高校 // 船橋古和釜高校 // 薬園台高校 // 船橋芝山高校 // 船橋啓明高校 // 船橋法典高校 // 市川東高校 昭和学院中学・高校 県立市川工業高校 // 国府台高校 千葉商科大学附属高校 県立松戸向陽高校	松戸市

〈宅配・連携校〉

県立船橋東高校	県立柏の葉高校	船橋市立船橋高校	県立船橋特別支援学校
〃 船橋二和高校	〃 流山北高校	松戸市立松戸高校	〃 市川特別支援学校
〃 鎌ヶ谷西高校	〃 野田中央高校	市川高校	〃 特別支援校市川大野高等学園
〃 国分高校	〃 清水高校	東葉高校	〃 松戸特別支援学校
〃 市川昂高校	〃 関宿高校	東京学館船橋高校	〃 湖北特別支援学校
〃 松戸南高校	〃 我孫子高校	我孫子二階堂高校	〃 矢切特別支援学校
〃 船橋高校	〃 印旛明誠高校	東海大学付属浦安高校	

〈東部図書館協力車巡回コース〉

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	随時
巡回施設	県立八日市場特別支援学校 匝瑳市立八日市場図書館 敬愛大学八日市場高校 県立匝瑳高校 横芝光町立図書館 県立松尾高校 芝山町中央公民館 多古町立図書館 県立多古高校 神崎ふれあいプラザ 県立香取特別支援学校 〃 佐原白楊高校 香取市立佐原中央図書館 県立佐原高校	県立銚子特別支援学校 銚子市立銚子高校 県立銚子商業高校 〃 銚子高校 千葉科学大学 銚子市公正図書館 東庄町図書館 県立小見川高校 〃 東総工業高校 〃 旭農業高校 旭市図書館	九十九里町中央公民館 県立九十九里高校 〃 大網白里特別支援学校 大網白里市図書室 東金市立東金図書館 県立東金高校 〃 東金商業高校 城西国際大学 県立成東高校 山武市さんぶの森図書館 県立飯高特別支援学校	県立旭農業高校

(2) 図書館運営相談

図書館の管理・運営やサービスに関する質問を市町村立図書館等から受け付ける。また、定期的に施設訪問し、図書館運営相談等に応じる。

(3) その他

ア 新聞・雑誌総合目録の整備

市町村立図書館等や文書館行政資料室、県立保健医療大学図書館、さわやかちば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を毎年更新してホームページ上で公開する。

イ 読書活動支援

県内の読書活動を推進するため、市町村立図書館等と連携し、読書グループ関係団体への支援協力を行う。また、読書会用テキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫の整備を進める。

ウ 資料の巡回展示〈東部〉

市町村立図書館等及び学校図書館と連携し、東部図書館で実施した資料展示の巡回展示を行う。

2 図書館職員の研修センター

(1) 職員の資質向上

県立図書館職員の資質向上を目的に館内研修を計画的に実施するとともに、新たな専門研修の受講を含め外部研修会等への職員派遣を積極的に行う。

(2) 研修業務

市町村立図書館等職員に必要とされる専門的な知識・技術についての各種研修会を開催し、全体的な図書館サービスの維持・向上を目指す。また、研修時のアンケート結果等を分析し、研修プログラム充実に必要な課題を整理・検討する。

【中央図書館】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	5月15日(水)	中央博物館講堂	70人
公共図書館中堅職員研修会	10月9日(水)	中央博物館講堂	40人
図書館長研究協議会	11月13日(水)	千葉県文化会館	80人
児童サービス基礎研修会 第1回	6月26日(水)	千葉県文化会館	40人
第2回	7月2日(火)	〃	40人
第3回	7月12日(金)	〃	40人
第4回 午前	9月18日(水)	〃	40人
第5回 午後	〃	〃	40人
地域行政資料研修会 第1回	10月18日(金)	中央図書館閲覧室	20人
第2回	2月6日(木)	文書館	40人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス基礎研修)	6月21日(金)	中央図書館閲覧室	40人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	未定	未定	30人
課題解決支援サービス研修会	11月22日(金)	中央博物館研修室	40人

【西部図書館】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	5月24日(金)	西部図書館研修室	20人
障害者サービス研修会	7月10日(水)	〃	30人
	7月24日(水)	〃	30人
課題解決支援サービス研修会	10月16日(水)	〃	30人

【東部図書館】

*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	5月22日(水)	東部図書館研修室	10人
課題解決支援サービス研修会	未定	東部図書館研修室	30人
千葉経済大学短期大学部と千葉県立東部図書館との連携研修会	未定	東部図書館管内の読書施設	20人
学校図書館運営研修会	7月30日(火)	東部図書館研修室	10人

第2 子どもの読書活動の推進

1 子どもの読書活動の推進拠点

(1) 子どもの読書活動推進センター機能の充実

教育委員会、図書館、関係機関・団体、関係者等の連携拠点（センター）として館内にプロジェクトチームを設け、子どもの読書活動の推進を図る。子どもの読書推進に関する施策・サービス等の調査・研究、普及・啓発、資料の収集と整備、担当者の研修及びネットワークの構築（連絡・調整、情報の共有、人や組織の連携等）を行い、センター機能の充実に努める。

(2) 来館者サービス

資料の貸出し、児童書研究のレファレンスのほか、定例おはなし会や親子で楽しむえほんの会、冬のおはなし会を開催する。また、「子育て支援情報コーナー」の資料や情報の充実に努める。
〈中央〉

(3) 市町村立図書館等への支援

市町村立図書館等への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行う。
「児童サービス基礎研修会」を開催し、市町村立図書館等の児童サービス担当職員の養成に努める。
〈中央〉

(4) 読み聞かせボランティアの養成

読み聞かせボランティア入門講座」を開催するとともに、市町村立図書館等や学校図書館が実施する子どもの本の読み聞かせボランティアを養成する講座等に講師として職員を派遣する。
〈中央〉

(5) 出張おはなし会

博物館等関係機関で開催するイベント等に協力し、職員が出向いて行って、おはなし会や読み聞かせを行う。
〈中央〉

(6) ヤング・アダルトサービスの実施

県立図書館ホームページ内のヤング・アダルトサービスのページの充実に努める。
〈中央〉

(7) 障害者用資料の製作

児童資料の点訳絵本等を製作する。
〈中央〉

(8) 広報・啓発業務

- ・子ども読書の日記念展示の開催
- ・子ども読書の日おはなし会の開催 〈中央〉
- ・生涯学習課主催の「子ども読書の集い」への出展 〈中央〉

2 学校図書館への支援

(1) 高等学校・特別支援学校向け貸出用資料の整備

学校向けの貸出用セット資料を整備し、校長会、教員研修会等でPRし、利用の促進を図る。
資料搬送方法：協力車〈西部・東部〉、宅配便〈中央・西部（協力車未巡回高等学校）〉

(2) 資料の貸出し・運営相談等

学校図書館への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行う。
生徒向けに高等学校で実施する読み聞かせ講座に講師として職員を派遣する。
〈中央〉
高等学校の担当者を対象に連携、情報交換のため会議を開催する。
〈西部〉

(3) 特別支援学校への訪問による読書支援

希望する学校に職員が訪問し、おはなし会や運営相談等の読書支援を行う。

第3 課題解決支援図書館機能の充実

1 調査研究に役立つ資料の収集と情報の提供

(1) 資料の収集・整理・保管業務

ア 収集

「千葉県立図書館資料収集方針」等に基づき、県民の調査研究活動の支援及び市町村立図書館等への協力・支援に資する資料を収集するものとし、特に3館が一体となって県立図書館全体の蔵書構築ができるよう、以下の点に留意し収集に努める。

中央図書館では、千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるほか、官公庁をはじめ、関係機関や県内の諸団体の刊行物、個人の自費出版物等の収集・整備に努める。また、県内における子どもの読書活動推進のセンター館として、児童資料及び児童書研究資料の充実を図るほか、学校支援用の図書を整備する。西部図書館では、自然科学・技術分野の資料を重点的に収集する。東部図書館では、文学・歴史分野の資料を重点的に収集する。

イ 整理

資料の発注から廃棄までの整理業務は電算システムを活用して行い、装備は、バーコードラベル、背ラベル、不正持出し防止用の磁気テープ、フィルムコーティング等を施し、資料の保全を図る。

ウ 資料整備計画

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
購入図書資料	4,590 冊	2,620 冊	3,880 冊	11,090 冊
寄贈図書資料	3,000 冊	600 冊	580 冊	4,180 冊
逐次刊行物 (購入)	152 タイトル	277 タイトル	194 タイトル	623 タイトル

エ 保管

収集資料を継続的・効率的に維持保存・利用するために、蔵書点検（2月12日～21日）を行う。また、書庫の狭溢化対策として、1館集約を見据え重複資料等の除籍を行う。

(2) 電算業務

ア 業務系システム

平成29年11月より2期目に入った「千葉県立図書館情報システム」を維持管理し、次期電算システム導入に向けた機能充実・改善の検討を進める。

イ インターネット系システム

「千葉県立図書館ホームページ」については、更に利用しやすく利便性が高まるよう整備する。

2 調査研究や政策形成の支援

(1) 調査相談業務（レファレンスサービス）

ア 調査回答

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料、インターネット情報源、商用データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や市町村立図書館等からの調査相談に対する確に回答する。

イ 研修会の開催

市町村立図書館等職員を対象に、課題解決支援サービス研修会やレファレンス研修会を開催する。

ウ パスファインダー（調べ案内）、ブックリストの作成

県民ニーズを把握し、県民が関心を持つテーマに関する調べ方を紹介するパスファインダーや、調べ物に役立つブックリストを作成する。また、時事問題等に関する新たな情報提供サービスを開始する。

エ レファレンス事例の公開

調査回答事例を国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、県民がホームページで閲覧できるようにする。

オ 国立国会図書館の提供する「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」が調査研究に活用されるよう県民への広報を行うとともに、資料の提供、複写サービスを行う。

カ オンラインデータベースの拡充

県民の情報に対する多様なニーズに応えられるよう新たなデータベースを導入し、オンラインデータベースの拡充を図る。

【オンラインデータベース】

	データベース名	中央	西部	東部
総合	ジャパンナレッジLib *	○	○	○
	国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス	○	○	○
	国立国会図書館 歴史的音源（配信提供館）	○	○	○
	サピエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）	○	○	○
	ポプラディアネット *	○	○	○
新聞・ 雑誌の 記事・ 論文	日経テレコン21	○	○	—
	朝日「聞蔵2ビジュアル」	○	○	○
	毎索	○	○	○
	ヨミダス歴史館	○	—	—
	中日新聞・東京新聞記事データベース *	○	—	—
	産経新聞データベース *	○	○	○
	ELDBアカデミック *	○	○	○
	Web OYA-bunko *	○	○	○
	ざっさくプラス *	○	○	○
JDream III *	○	○	○	
社会科学	D1-Law.com（現行法規・判例体系・法律判例文献情報）	○	○	○
	Nexis *	—	○	—
	官報情報検索サービス	○	○	○
	Whoplus *	○	○	○
人文科学	市場情報評価ナビ MieNa *	○	—	—
	日本文学Web図書館 和歌ライブラリー *	○	○	○
	日本古典文学大系本文データベース *	○	○	○
	日外e-レファレンス・ライブラリー（世界文学） *	○	○	○
自然科学・ 技術・産業	日外e-レファレンス・ライブラリー （児童文学・ヤングアダルト） *	○	○	○
	医中誌Web	—	○	—
	最新看護索引Web	—	○	—
	ルーラル電子図書館	—	—	○

*は令和元年度新規導入。「ジャパンナレッジLib」は『国史大辞典』、『日本歴史地名大系』、『世界大百科事典』、『新版角川日本地名大辞典』を追加。

(2) 閲覧業務

ア 資料の館内利用・貸出し

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等所蔵資料や、県内外の他の公共図書館及び国立国会図書館、大学図書館等からの相互貸借により、資料の提供や貸出し、複写サービスを行う。

イ 図書館への来館が困難な利用者に対する情報提供

自宅への図書の直接貸出を希望する県民（資料貸出券の発行を受けている方）に対して、図書館に来館せずに郵送（送料自己負担）による図書（一部の資料を除く）の貸出し、返却サービスを行う。

ウ 資料の展示

所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、定期的な資料展示を行う。

(3) 各種講座の開催

各種講座を実施し、県民の学習機会の拡充に努める。

講座等実施事業一覧（研修事業は別掲）

*開催日等は予定

事業名	中央	西部	東部
図書館ナビ			毎月第4土曜日
データ新聞関係	10月30日（水）		
ベース菜の花	6月15日（土）	7月27日（土）	9月14日（土）
活用講座 ライブラリー		11月9日（土）	
文学・歴史講座			11月8日（金）
サイエンス・カフェ		10月20日（日）	
課題解決支援	11月22日（金）		
くらしに役立つ法律・判例情報講座			
健康・医療情報講座		7月13日（土）	
はつらっライフ講座			10月4日（金）
障害者のための資料デジタル化講座		6月14日（金）	
図書館音訳者養成講座	1月、2月	5～7、9～11月 隔週土曜日	10月9日（水）
読書支援機器活用講座	8月、9月	1月22日（水）	
サピエ図書館活用講座	11月		
定例おはなし会	毎週土曜日		
親子で楽しむえほんの会	(奇数月第2金曜日) 5月10日、7月12日、 9月13日、11月8日、 1月10日、3月13日		
冬のおはなし会	12月15日（日）		
読み聞かせボランティア入門講座	9月26日（木）、 1月30日（木）		
読み聞かせ講座（さわやかちば県民プラザ共催事業）	8月9日（金）		

(4) 行政支援

県民生活の維持向上等に係る施策を企画・立案している県庁各課等へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行う。また、県出先機関への郵送サービスを行う。

第4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

1 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存

(1) 資料の計画的な収集

千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるとともに、文書館などの関係機関と連携し、官公庁など関係部署への寄贈依頼を定期的に行う。また出版情報について新聞記事等により把握し、幅広い収集を行う。

(2) チラシ等の作成・配布、研修会の開催と広報

千葉県に関する調べ案内（パスファインダー）、千葉県資料のテーマ別資料リスト、菜の花ライブラリーの使用方法の印刷物を作成・配布する。また県内公共図書館等職員を対象に、地域行政資料に関する知識を深め、日常のレファレンス業務や資料の保存・提供の充実を図るため、研修会を実施する。

(3) 菜の花ライブラリー活用講座の実施

県民が千葉県についての情報を効率的に幅広く入手し、千葉県への理解を深めるために、ホームページで公開している千葉県関係データベース「菜の花ライブラリー」の利用方法を学ぶ機会として菜の花ライブラリー活用講座を実施する。

(4) 東日本大震災及び防災関連資料・情報の収集・提供

県民の課題解決支援の一環として、千葉県における東日本大震災や防災に関連する資料・情報を収集・整理、保存して国立国会図書館と協力し、資料の提供や図書館ホームページによる情報提供に取り組む。

2 千葉県関係資料の情報発信の推進

(1) 千葉県関係の情報検索ツールの充実

国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供、千葉県関係の新聞・雑誌記事索引、千葉県に関する調べ案内（パスファインダー）、千葉県資料のテーマ別資料リスト等の情報検索ツールを作成し、レファレンスサービスの充実に努める。

(2) 貴重資料保存のためのデジタル化

地図・郷土誌、県が編集発行した行政資料など、利用者ニーズの高いものからデジタル化を進める。

(3) 国内の動向調査と指針の改定

国立国会図書館や他県の技術動向等について調査研究し、デジタル化の指針改定を進める。

第5 知の創造と循環を生み出す公共の場

1 博物館など関係機関との連携

博物館や文書館、県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。
関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。

2 すべての県民が利用しやすく快適な社会教育施設

(1) 高齢者・障害者サービス

年齢や障害のために図書館利用が困難な方が、資料の提供を受けられるように各種サービスや研修会を実施し、市町村立図書館への普及を図る。また、先進事例を調査・研究し、サービスの推進に当たる。

ア 録音図書の貸出し・製作

希望する録音図書を所蔵資料だけでなく、全国の点字図書館や公共図書館より借り受けて提供する。また、所蔵していない場合は、自館で製作し貸出しを行う。

イ 対面朗読

図書館音訳者が対面朗読室で、図書館の蔵書や持込みの資料などを朗読する。

ウ 活字資料のテキストデータ化〈西部〉

利用者へ迅速に情報提供できるよう、希望する活字資料をテキストデータ化してパソコン等で音声化するサービスを行う。併せて、作業に従事する図書館音訳者等向けに「障害者のための資料デジタル化講座」を開催する。

エ デジタル化録音図書の配信

製作した録音図書を「視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）」並びに「国立国会図書館視覚障害者用データ送信サービス」へ配信し、利用者がインターネットで利用できる環境を整備する。

オ 図書館音訳者の養成

録音図書の製作や対面朗読を行う図書館音訳者を委嘱するとともに、図書館音訳者の技術向上に資するため、図書館音訳者養成講座を開催する。西部図書館では、昨年度に引き続き音訳者を新規に養成する初級向けの連続講座を開催する。

カ 研修会の開催〈西部〉

市町村立図書館等職員の公共図書館における障害者サービスの向上や、特別支援学校教職員への障害者サービスの啓発を目的に、障害者サービス研修会を開催する。

キ 読書支援機器活用講座の開催〈中央、西部〉

活字による読書の困難な方とその支援者や市町村立図書館職員、特別支援学校教職員等を対象に、拡大読書器や活字を読み上げる機器、デジタル録音図書の再生機器の説明会並びにICTを活用した読書の最新動向の紹介等を実施する。

ク サピエ図書館活用講座の開催〈中央〉

インターネットを活用して、録音図書・点字図書オンラインデータベースを体験する。

※「サピエ」とは、視覚障害者を始め目で文字を読むことが困難な方々に対して、さまざまな情報を点字、音声データで提供するネットワーク（当該ホームページから引用）

ケ 高齢者サービスの推進〈東部〉

高齢者サービスの課題を整理し、「はつらっライフ講座」等を開催するとともに、「はつらっライフコーナー」の充実を図る。

(2) 広報・啓発業務

県立図書館の機能・役割を県民に広く周知するために、「要覧」、「千葉文化 千葉県立中央図書館報」、「West Library 千葉県立西部図書館だより」、「知識は旅をする 千葉県立東部図書館だより」、「利用案内」の編集・発行等を行うほか、次の事業を行う。

ア 県立図書館ホームページの充実

イ オリンピック・パラリンピックをテーマにした展示を企画し、県立3館及び市町村立図書館等での巡回を進める。

ウ ソーシャルネットワーキングサービスを活用した所蔵資料・事業内容紹介

エ 千葉県資料の県民向け広報の実施〈中央〉

オ FMラジオ放送への出演や広報誌等による所蔵資料・事業内容紹介〈中央〉

カ 職場体験・インターンシップの受入れ〈西部・東部〉

小・中学生、高校生の職場体験、インターンシップの高校生・大学生を受け入れる。

第6 県立図書館の再編準備

平成30年度からプロジェクトチームを設置し、1館集約に向けた物流や研修、資料収集等といった課題の整理及び検討を行っており、引き続き準備を進める。

第7 行動計画の取組・推進

(1) 取組の推進

「千葉県立図書館行動計画」（平成30～令和2年度）を、3館が一体となって推進し目標達成に向けて取り組む。

(2) 点検・評価（中間報告）

「千葉県立図書館行動計画」の進捗状況を図書館協議会に報告し、意見をいただくとともに、ホームページに公表して図書館サービスの向上や改善に努める。

(3) 利用者アンケートの実施

図書館利用の満足度等利用状況を把握し、図書館運営の参考とするため、秋の読書週間に実施する。

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			主な取組の進捗状況(今後の見通し含む)	評価指標	R2 目標値	実績値		H30概況	
			H30	R1	R2				H29	H30		
1	図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	【市町村立図書館等への貸出し、相談事業等の推進】 ・市町村立図書館等を通じた貸出しについて広報を進める。 ・毎年全市町村を訪問し、図書館の運営等についての調査相談を行う。	▶	▶	▶	・市町村立図書館等を通じた貸出しについての広報用ポスターを300部作成、配布した。 ・全市町村を訪問し、各図書館の課題等について運営相談を行った。	市町村立図書館等への貸出冊数	75,000	74,861	72,468	市町村立図書館等への貸出冊数については、前年度の3.2%減となり、目標値に届かなかった。今後も市町村立図書館等のニーズに沿った支援を進める。
			【新館における物流体制の検討】 ・現状の課題等について市町村立図書館等に聴取し、新館整備に向けて検討を進める。	▷	▷	▷	・物流体制の課題等についての検討を県立3館で開始するとともに、市町村立図書館等への運営相談での聞き取りや書面による意見聴取など調査方法を検討中である。					
			【県内最後の1冊保存体制の検討】 ・国内の先行事例について調査を行う。 ・現状の課題等について市町村立図書館等との情報交換を進める。	▷	▷	▷	・県内最後の1冊保存体制について、国内の先行事例など文献調査を行った。今年度は実施している図書館への個別調査を行い、次年度以降、市町村立図書館等との情報交換を進める。					
2	図書館職員の資質向上	(1) 図書館職員研修センター機能の強化	【経験別、分野別研修の実施】 ・研修結果の分析をし、研修プログラムの充実を図る。	▶	▶	▶	・新任職員、中堅職員、児童・地域・調査研究・障害者・課題解決支援サービスの各研修を実施した(延べ21回開催、675名参加)。 ・各研修時のアンケート結果を分析し、課題の整理を進める。	研修受講者の満足度	90%	89%	91%	研修受講者の満足度については、前年度の2ポイント増となり、目標値を上回った。
			【研修機会の拡充】 ・開催方法を検討し、地域別開催を実施する。	▷	▷	▶	・中央図書館主催研修事業の開催場所について検討を進めている。 ・一部の研修会について市町村立図書館等を会場として実施した(今年度も同様に実施する予定)。					
			【研修内容のアーカイブ化】 ・国内の事例等について調査し、課題等の洗い出しを行う。	▷	▷	▷	・研修内容のアーカイブ化(ホームページでの公表等)について、他県等に対する調査項目など今年度も継続して検討する予定である。					
3	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	【読み聞かせ講座の実施】 ・図書館未設置市町村等で読み聞かせ講座を実施する。 ・講師養成のためのカリキュラムについて研究を進める。	▶	▶	▶	・読み聞かせボランティア入門講座を鴨川市(40名参加)、大網白里市(18名参加)で実施した(今年度は長南町、多古町で実施予定)。また、市町村からの依頼により東金市(29名参加)、いすみ市(18名参加)に職員を派遣した。 ・ボランティア養成講座を実施している都道府県の中から、絵本講師、絵本専門士、認定絵本士等民間の資格で実施しているカリキュラムを調査する予定である(児童図書館員養成講座に参加し、他館の取組等最新情報を収集する予定)。	読み聞かせ講座の受講者数	80	76	105	読み聞かせ講座の受講者数については、前年度の38.2%増となり、目標値を上回った。	
		【子育て支援情報サービスの推進】 ・子育てに資する図書等を収集するとともに、県関係機関と連携しながら子育て支援情報の発信を進める。	▶	▶	▶	・子育てに関する新着図書案内を作成し、館内で配布している。 ・生涯学習課や子育て支援課と連携し、子育てに関するパンフレット等の収集、提供を進めている。						
		【児童書の網羅的収集の検討】 ・市町村立図書館等が児童書を購入する際の参考となるような収集方法について、国内の先行事例等の調査を行う。	▷	▷	▷	・児童書の網羅的収集について、国内の先行事例など文献調査を行った。今年度は実施している図書館への個別調査を行う予定である。						
	(2) 学校図書館への支援の強化	【県立学校等への貸出し、相談事業等の充実】 ・県立学校等の相互貸借について実態調査を進める。 ・要望の多い貸出セットの重複購入を検討する。 ・生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。	▶	▶	▶	・県立学校等の担当会議や運営研修会、学校訪問等を実施することにより、相互貸借などの実態調査を進めている。 ・要望の多い貸出セットや買い替えが必要なセットについて調査検討を進めている。 ・中央図書館の利用未登録高校9校へ事業説明を行い、4校が新規登録した。 ・高等学校において保育等への進路を希望する生徒や図書委員会活動への支援のため、生徒向け絵本の読み聞かせ講座に職員を派遣した(延べ11校)。	県立学校等への貸出冊数	31,000	30,739	32,999	県立学校への貸出冊数については、前年度の7.4%増となり、目標値を上回った。	
		【特別支援学校への読書支援の充実】 ・学校訪問等でニーズと支援方法を探り、読書支援を継続、推進する。	▶	▶	▶	・特別支援学校20校へ訪問し、絵本の読みかきかせを中心に「おはなし会」を実施(うち1校は来館)した。 ・西部図書館では学校の要望により、新たに高等部1校で「図書館の授業」を実施した(今年度は2校で実施予定)。						
		【市町村立図書館等と小中学校との連携への支援】 ・市町村立図書館等と小中学校との連携状況を調査する。 ・小中学校支援モデル事業として貸出セットの作成を検討する。 ・図書館未設置市町村等が小中学校との連携を推進できるよう、資料の支援に努める。	▷	▷	▷	・市町村立図書館等と小中学校との連携状況について運営相談での調査を集中中である。また、貸出セットの作成については検討中である。 ・図書館未設置市町村への訪問時に小学校教科指導で使える資料リストとその図書見本を持参し、管内小学校等への周知を依頼した結果、654冊の貸出申込があった。						

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			主な取組の進捗状況(今後の見通し含む)	評価指標	R2 目標値	実績値		H30概況	
			H30	R1	R2				H29	H30		
4	(1)	課題解決支援、調査研究機能の強化	【課題解決支援サービスの充実】 ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を推進する。 ・個人への郵送貸出サービスを実施する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集、提供する。	▶	▶	▶	・西部図書館の医療・健康情報コーナーでは、新たに国立がん研究センターから寄贈されたがんに関する資料を設置した。 ・個人への郵送貸出サービスを9月から開始し、14件38冊の利用があった。 ・行政課題等の解決に資する資料は適宜収集、提供に努めている。	課題解決支援のための情報発信件数 ・レファレンス協同データベース ・パスファインダー ・時事情報ブックリスト等	90	80	112	課題解決支援のための情報発信件数については、今期から新たにブックリスト等を計上したこともあり、前年度の40.0%増となり、目標値を上回った。
			【レファレンス事例の一般公開】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供を進める。	▶	▶	▶	・レファレンス協同データベースに千葉県関係以外の事例を60件登録した。					
			【県民向け講座の実施】 ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。	▶	▶	▶	・課題解決支援講座として、各館の特徴を活かし、暮らしに役立つ法律・判例情報講座、健康・医療情報講座、はつらつライフ講座を開催した。また、3館のデータベース活用講座で菜の花ライブラリー活用講座を実施した。 ・その他、サイエンスカフェ、文学講座、歴史講座、図書館ナビ、東部図書館開館20周年記念講演会を開催した。					
			【時事問題等に関する新たな情報提供サービスの実施】 ・時事問題や地域の課題等に関する資料の紹介、ブックリスト等の作成、提供を行う。	▷	▶	▶	・時事問題に関するものとして、「児童虐待問題」「読んで楽しむ！オリンピック・パラリンピック」「平成を振り返る」など各館で時宜にかなった展示を定期的に行うとともに、展示リスト12件を作成、提供した。 ・また、「オリンピック・パラリンピックを調べる」「かこさとしさん、ありがとう！」など児童書関連の展示リスト16件、教科書単元別リスト11件を作成した。 ・時事問題に関する新たな情報提供サービスについて、先行事例を参考にサービスの目的や対象、内容の検討を進めた(今年度中に開始予定)。					
			【電子書籍や商用データベースの動向調査】 ・都道府県立図書館の導入事例や市場動向等について調査を進める。	▷	▷	▷	・電子出版制作・流通協議会の発表などを参考としながら、電子書籍の動向調査を進めている(今年度は他県の先行事例についても調査予定)。 ・先進館の導入事例などを参考に、県民の調査・研究に資する商用データベースの追加導入を検討した(今年度13種類を追加導入済み)。					
			【新館整備に向けた資料管理の検討】 ・重複図書の除籍を進める。 ・重複雑誌の除籍と書誌修正を進める。 ・新館における資料の収集、整理方法について検討を進める。	▷	▷	▷	・重複して所蔵している図書については、狭隘化の著しい中央図書館から優先して廃棄又は譲渡作業を行っている。 ・雑誌については、西部・東部図書館間の重複分から除籍する予定である。 ・1館集約に伴う図書の収集、整理方法について、引き続き全国の事例を参考にしながら検討している。					
5	(1)	千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	【千葉県関係資料の網羅的収集】 ・官公庁など関係部署への寄贈依頼を定期的に行う。 ・出版情報について新聞記事等により把握し、幅広い収集を行う。	▶	▶	▶	・県庁ホームページや文書などで幅広く寄贈依頼を行うとともに、新聞記事や広報などで資料の刊行情報を入手した際には改めて発行元に寄贈依頼を行うことにより、千葉県関係資料の網羅的収集に努めている(購入296冊、寄贈1,944冊、合計2,240冊)。	千葉県に関する情報発信件数 ・レファレンス協同データベース ・パスファインダー ・テーマ別ブックリスト等	20	15	38	千葉県に関する情報発信件数については、今期から新たにブックリスト等を計上したこともあり、前年度の153.3%増となり、目標値を上回った。
			【千葉県関係の情報検索ツールの充実】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供や新聞雑誌記事索引、人名索引、デジタルアーカイブ、パスファインダー、テーマ別リスト、目次情報など、千葉県関係の情報に到達しやすい環境を整備する。	▶	▶	▶	・千葉県関係として国立国会図書館レファレンス協同データベース24件、パスファインダー2件、テーマ別リスト12件を追加した。					
			【千葉県資料のデジタル化】 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料など利用者ニーズの高いものからデジタル化を進める。 ・国立国会図書館や他県の動向について調査を行い、デジタル化の指針を改定する。	▶	▶	▶	・デジタル化する郷土資料を選定し、デジタル化の業務委託を実施した(詳密千葉町全図等)。 ・国立国会図書館等の動向について引き続き調査するとともに、デジタル化に係る長期計画についての検討を進める。					
			【インターネット上の地域行政資料の動向等調査】 ・ポーンデジタル資料(初めからデジタルデータとして作成されたコンテンツ)やオープンデータ(二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ)の収集、提供など、国内の動向について調査を行う。	▷	▷	▷	・全国の先行事例等を参考に、インターネット上の地域行政資料の収集・提供の方法等について検討を行う予定である。 ・なお、著作権者の許諾を得られた資料については当館でプリントアウトし、蔵書とした(千葉県資料のうち177冊)。					

役割・機能	重点項目	主な取組	スケジュール			主な取組の進捗状況(今後の見通し含む)	評価指標	R2 目標値	実績値		H30概況
			H30	R1	R2				H29	H30	
6 知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進	【関係機関と連携した事業の実施】 ・博物館や文書館、県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。 ・関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。	▶	▶	▶	・関係機関と連携して実施した展示、講座等は次のとおり。 中央博物館:サイエンスカフェ(37名参加)、乗り物のお話会(6名参加)、「房総丘陵」「十二支」「のりものの絵本」「千葉県と鉄道」に関する展示 文書館:地域行政資料研修会での文書館視察(21名参加) 千葉県文化会館:お話し会(24名参加) 法テラス千葉法律事務所:「くらしに役立つ法律判例情報講座」(16名参加) 松戸健康福祉センター:健康・医療情報講座(25名参加) 東総文化会館:ファミリーコンサートでの絵本展示 国保旭中央病院、県金融広報委員会:「はつらっライフ講座」(2回延べ46名参加) 新村出記念財団:歴史講座(76名参加) ・職員を派遣した事業は次のとおり。 中央博物館:恐竜のお話し会(92名参加)、シンポジウム「本をめぐる博図公連携」(117名参加) 県民プラザ:読み聞かせ講座(2回延べ60名参加)	連携事業の実施回数	10	9	18	連携事業の実施回数については、前年度の2倍となり、目標値を上回った。
		【関係機関との連絡調整会議の実施】 ・博物館や文書館、県民プラザ等関係機関との情報共有を進める。	▶	▶	▶	・中央博物館、さわやかちば県民プラザ、文書館の担当者間で連携事業などについて意見交換会を開催した。					
		【オリンピック、パラリンピック関連事業の実施】 ・県関係機関と連携しながらオリパラ関連資料を収集、提供し、展示など県民への広報普及に努める。	▷	▶	▶	・県立図書館所蔵資料のオリンピック、パラリンピック関連資料の展示を行った。今後、関係機関と連携することで、より充実した内容とする。					
	(2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	【障害者用コンテンツの充実】 ・点訳絵本、録音図書等の作成を進める。	▶	▶	▶	・点訳絵本を2タイトル、録音図書を14タイトル作成した。	録音図書の貸出タイトル数	14,000	13,388	13,532	録音図書の貸出タイトル数については、前年度の1.1%増となったが、目標値に届かなかった。今後も市町村立図書館等でのサービス充実を図る。
		【障害者サービスの普及】 ・県内図書館向け研修や県民向け講座等を充実する。	▶	▶	▶	・読書支援機器活用講座(66名参加)、障害者のための資料デジタル化講座(32名参加)、障害者サービス研修会(56名参加)、サピエ図書館活用講座(13名参加)を開催した。 ・中央・東部図書館では音訳者の資質向上のための講座を、西部図書館では新たに募集して養成するための初級向け連続講座を開催した(今年度も継続実施の予定)。					
		【新しいサービスの研究開発】 ・多言語社会や発達障害者への対応など新しいサービスの研究開発を進める。	▷	▷	▷	・中央図書館児童資料室内に点訳絵本やさわる絵本、LLブックなどバリアフリー資料を集めた「りんごの棚」を設置した。 ・多言語・多文化サービスについて、関東地区都県立図書館長会議で行った情報収集に基づいて研究を進めている(今年度は多言語・多文化サービスをテーマにした研修を実施予定)。					

※スケジュール凡例

▷: 検討段階

▶: 実施段階